

令和 6 年度

主な事務事業調

令和6年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	緊急時避難円滑化事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	45,000 千円			予 算 書	24 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	内閣府において制度化された「原子力発電施設等緊急時安全対策交付金」の「緊急時避難円滑化事業」を活用して、高浜発電所から10キロ圏内に位置し、複合災害発生時に孤立する可能性がある多門院地区の避難路となっている市道「溝尻多門院線」を改良し、住民の避難の円滑化を図る。					
	事業の内容	○溝尻多門院線（多門院～堂奥地区 L=311m） 総事業費 103,400千円（見込） 実施期間 令和4年度～令和6年度				
【整備スケジュール】（予定） 令和4年度 調査・設計 8,400千円 令和5年度 工事（法面工、擁壁工等） 50,000千円 令和6年度 工事（舗装工等） 45,000千円						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書		
	国支出金	-				
	府支出金	45,000	緊急時避難円滑化事業費補助金（10/10）	15		
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	危機管理・防災 課 土 木		課長名	西村 和宏 尾橋 英憲	内線 番号	2562 2350

令和6年度 主な事務事業調

No. 2

事業名	市民が誇れるまちづくり推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	130 千円			予 算 書	24 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>市民が主役となるまちづくりを進めるため、市民の郷土愛や誇りを醸成するとともに、市民自らがより良いまちづくりを行っていくための考えを表す「市民憲章」に関し、必要性やまちづくりへの思いなどについて、市民と建設的な議論を積極的に展開する。</p>
事業の内容	<p>1 アンケートの実施 130千円 ・無作為抽出によるアンケート調査の実施</p> <p>2 聞き取り等による調査 ・会議の場等における聞き取り調査の実施</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	130		

担当課	企画政策 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	自治体システム標準化事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	109,360 千円			予算書	24 頁	
				事業区分	新規 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>国が進める地方公共団体情報システムの標準化の取組は、全国の自治体で業務システムを標準化し、各自治体ごとにバラつきのある業務フローや利用機能・帳票を統一することで、調達コスト低減、IT人材不足の解消、住民サービス向上及び行政の効率化を進めることを目的とするものである。</p> <p>本市の各業務システムを2025（R7）年度末までに遅滞なく対応させるため、標準システムへの移行を進める。</p>					
	<p>【自治体システム標準化作業全体】</p> <p>R5年度の作業 ⇒ R6年度以降作業</p> <p>Fit&Gap (BPR) の実施 → 標準準拠システム導入事業者選定 → ガバメントクラウド接続 → 標準準拠システムへのデータ移行 → 標準準拠システム構築・導入 → 令和7年度末運用開始</p>					
事業の内容	<p>【令和6年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○データ移行環境構築 2,990千円 ○標準準拠システムへの移行作業 93,452千円 ○ガバメントクラウド接続 12,918千円 <p>※Fit&Gap…パッケージシステムを導入する際に、業務や仕組みとシステムの機能が、どれだけ適合（Fit）し、どれだけズレ（Gap）があるかを分析すること。 ※ガバメントクラウド…行政に関わる業務システムを統一されたクラウド上に集約、共通化・標準化した上で監視運用できるようにした政府共通のサービス利用環境。</p>					
	<p>【参考：各業務主管課分を含めた標準化に係る令和6年度経費総額】</p> <p>共同徴収システム、戸籍・戸籍附票システム、生活保護システム、障害福祉システム、健康管理システム 158,128千円</p>					

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	86,560	デジタル基盤改革支援補助金(10/10)	11
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		22,800		

担当課	デジタル推進課	課長名	吉崎 豊	内線番号	2610
-----	---------	-----	------	------	------

事業名	DX推進事業費 (うち業務支援ツールの導入、外部デジタル人材活用分)					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	16,935 千円			予算書	24 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	業務のデジタル化により得られる人的資源（人や時間）を人にしかできない業務に充てることで、住民サービスや市民満足度の向上を目指す舞鶴市DX推進計画の推進に向けて、職員の業務効率化を図るため、デジタル技術を活用した業務支援ツールを導入するとともに、外部デジタル人材の確保・活用による機能的で持続可能な市役所づくりを目指す。		
事業の内容	○業務支援ツールの導入 (1) ノーコード・ローコードツール (※) 7,728千円 (2) 音声文字起こしツール 508千円 (3) 生成AIツール 924千円 ○外部デジタル人材活用 7,775千円 庁内システムの運用等支援、デジタル化支援等で活用 ※ 専門的な知識等を有しない職員でも簡単にアプリ作成が可能なツール		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	15
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	12,435		

担当課	デジタル推進 課	課長名	吉崎 豊	内線番号	2610
-----	----------	-----	------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 5

事業名	情報システム管理経費 (うち公共施設予約システム更新事業分)					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	7,546 千円			予算書	25 頁	
				事業区分	新規 <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>公共施設予約システムを介した施設利用が年間約2,700件ある中、利用者にとってより快適に時代に即した公共施設の利用ができるよう、システムを8年ぶりに刷新し、利便性向上と施設管理業務の効率化を目指す。</p>
事業の内容	<p>次期システムで実現を目指す主なサービス内容</p> <p>(1) スマートフォン用に最適化した見やすい画面による操作性の向上 (2) オンライン予約からキャッシュレス支払いまで一貫したサービス (3) 利用者情報の登録、変更など各種手続きもオンラインで完結 (来場不要)</p> <p>【経費内訳】</p> <p>○システム導入一時経費 5,060千円 (導入時) ○クラウドサービス利用料 2,486千円 (5か月分)</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,773	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		3,773		

担当課	デジタル推進 課	課長名	吉崎 豊	内線番号	2610
-----	----------	-----	------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 6

事業名	庁舎改修事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
事業費	50,070 千円			予算書	25 頁	
				事業区分	新規 <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>本庁舎本館は昭和38年、別館は平成4年に建設し、これまで様々な改修を行ってきたが、今後も災害発生時の活動拠点として、レジリエンス機能（※）強化と脱炭素化の推進の両立を目指した持続可能な庁舎とするため、改修等の整備を進める。</p> <p>令和6年度は、消防設備等の改修、本庁舎への太陽光発電の設置について再生可能エネルギーの活用検討・導入のための設計業務委託を実施する。</p> <p>※レジリエンス…災害のほか様々な環境の変化に柔軟に対応すること</p>					
	事業の内容	<p>①別館防排煙制御設備等の改修 火災発生時に煙の流動を遮る防煙垂れ壁、延焼を防ぐ防火シャッター等の改修工事</p> <p>②中央監視室自火報防災盤等の更新 自動火災報知設備を一括監視する自火報防災盤及び庁舎内に設置している自動火災報知設備機器（ベル等）の更新</p> <p>③庁舎改修設計業務委託</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	20,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(定額)			12
	府支出金	-				
	地方債	29,700	総務債			22
	その他	-				
	一般財源	370				
担当課	資産マネジメント推進 課		課長名	山内 勇輔 松尾 信吾 (営繕担当)		内線 番号 1361 1375

令和6年度 主な事務事業調

No. 7

事業名	公共施設マネジメント推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
事業費	3,680 千円			予算書	25 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>現在の公共施設を持続可能な形で次世代へ引き継ぐため、施設全体を一元的に把握し、限られた資源・財源の中で経営的・戦略的な視点から企画・管理・活用していく「ファシリティマネジメント」の取組を推進する。</p>
事業の内容	<p>将来を見据えた施設の再編、機能改善等を計画的に実施するため、学識経験者とも連携し、令和8年度から始まる舞鶴市公共施設再生基本計画の見直し及び第2期舞鶴市公共施設再生実施計画等の策定作業等を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設データの収集・分析 ・公共施設情報のオープンデータ化 ・公共施設を題材としたワークショップの開催（4回/年） ・公共施設のあり方を考えるシンポジウムの開催（1回/年） <p><スケジュール> 令和6年度：データ収集・分析、施設カルテの作成・公開等 令和7年度：新システム導入、新計画の策定等</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		3,680		

担当課	資産マネジメント推進 課	課長名	山内 勇輔	内線番号	1361
-----	--------------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 8

事業名	財産管理経費（再生可能エネルギー設備等導入分）					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	財産管理費
事業費	65,000 千円			予算書	25 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>昭和43年に建設され、普通財産として管理している旧勤労者福祉会館は、現在舞鶴YMCA国際福祉専門学校に貸し出し、福祉人材の養成拠点として活用している。</p> <p>引き続き養成拠点として安定的に活用するために、今回、太陽光発電等再生可能エネルギー設備の導入に併せて、老朽化した空調を改修し、長寿命化を図る。</p>					
	事業の内容	<p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空調設備更新工事 ・再生可能エネルギー設備設置工事（太陽光発電設備設置等） 				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	65,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金（定額）	12		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	福祉企画	課	課長名	山本 仁志	内線番号	2290

令和6年度 主な事務事業調

No. 9

事業名	西市民プラザの管理運営に係る経費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費 地域づくり推進費
事業費	49,670 千円			予算書	24・26 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>西市民プラザは、これまで指定管理者制度による管理を行ってきたが、令和6年度は市直営による施設管理を行う。 運営にあたっては、これまでの交流を促進してきた様々な事業を発展させるとともに、西地区中心市街地の中核施設である西市民プラザの今後のあり方について地域とともに検討を進める。 また、経年劣化による屋上の防水シートの改修等を行う。</p>					
	事業の内容	<p>■西市民プラザ管理運営経費 31,507千円</p> <p>■西市民プラザ施設整備事業費 10,670千円 (屋上防水改修工事、昇降機修繕工事)</p> <p>■職員給与費(うち西市民プラザ分) 7,493千円 (予算科目: 2款1項1目)</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	10,000	総務債			22
	その他	6,874	施設使用料、雑入(電気料、イベント参加料)			8・22
	一般財源	32,796				
担当課		地域づくり支援 課	課長名		村尾 正	内線番号 1225

令和6年度 主な事務事業調

No. 10

事業名	地域活性化推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	12,442 千円			予算書	26 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>大浦地域と加佐地域では、人口減少による自治会存続や伝統行事継承の危機、一次産業における後継者不足、地域の担い手不足など地域の課題が山積している。</p> <p>そこで、大浦・加佐地域活性化センターが現地現場で地域住民や団体等と連携・協力し、地域コミュニティの支援、人材の育成、移住定住の促進、一次産業の振興等に取り組み、持続可能な魅力ある地域づくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>内容別内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域づくりセミナー等開催経費 830 千円 ○ 移住セミナー・相談会等参加旅費 248 千円 ○ 農山漁村活性化塾活動費補助金 1,440 千円 (ふるさと大浦21、加佐ふるさと塾など) ○ 地域水道施設等整備事業費補助金 6,300 千円 (田井地区水ヶ浦) ○ 一般管理経費 3,624 千円 <p>地域別内訳</p> <p>大浦 7,739 千円 ・ 加佐 4,703 千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	6,300	辺地債	23
	その他	3,700	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	2,442		

担当課	地域づくり支援 課	課長名	村尾 正	内線番号	1225
-----	-----------	-----	------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 11

事業名	新婚世帯支援事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	11,450 千円			予算書	26 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>若者の新婚世帯への経済的支援を実施し、既存の子育て世帯への経済的支援と連携した切れ目ない一体的支援を構築することにより、若者世代の婚姻の促進、地域を担う人材である若者世帯の定住促進を図り、住み続けたいと思える地域づくりにつなげる。</p>			
事業の内容	<p>(1) 対象世帯 ①夫婦ともに39歳以下かつ世帯所得500万円未満の世帯 ②夫婦のいずれか一方が39歳以下かつ世帯所得500万円未満の世帯</p> <p>(2) 対象経費 住宅購入費用、住宅賃貸借費用、引越費用、リフォーム費用</p> <p>(3) 補助上限額 ①夫婦ともに39歳以下の場合 30万円 ※但し、夫婦ともに29歳以下の場合 60万円 ②夫婦のいずれか一方が39歳以下の場合 18万円</p>			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	8,325	京都府結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金(1/2、3/4)	15
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		3,125		

担当課	地域づくり支援 課	課長名	村尾 正	内線番号	1225
-----	-----------	-----	------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 12

事業名	元気なまちづくり事業費補助金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	1,500 千円			予 算 書	26 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>コロナ禍で縮小された地域活動の再開、活性化を図るとともに、新たな地域のつながりづくりを促進するため、元気なまちづくり事業費補助金に地域の環境保全、美化事業を契機とした交流事業に対する支援を拡充する。</p>
事業の内容	<p>■対象事業 ・交流事業 ・地域福祉事業 ・環境保全・美化事業 ・安心・安全向上事業 ・地域の魅力向上事業</p> <p>■補助率等 補助率 2 / 3、補助上限 50 万円 補助対象経費下限額を 5 万円から 2 万円に変更【拡充】</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	700	きょうと地域連携交付金 (1/2)	15
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	800		

担当課	地域づくり支援 課	課長名	村尾 正	内線 番号	1225
-----	-----------	-----	------	----------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 13

事業名	自治会施設等整備事業費補助金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	9,565 千円			予算書	26 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>人口減少や少子高齢化などの社会環境の変化により、自治会は様々な課題を抱えていることから、時代のニーズにあった新たな支援が必要となっている。</p> <p>自治会が安全・安心の地域づくりを進めるために必要となる施設の整備等を支援し、自治会の負担軽減を図るもの。</p>				
	事業の内容	<p>◆対象事業 自治会等が実施する以下の事業</p> <p>①集会所の整備に係る経費 6,350千円 (1)集会所の新築、購入、増改築又は修繕 (2)2以上の自治会等が既設の集会所を共同利用することにより不要となる集会所の除却</p> <p>②放送施設等の設置、増設、修繕、撤去に係る経費 883千円</p> <p>③防犯カメラの設置に係る経費 332千円</p> <p>④交通安全灯の設置、更新、撤去に係る経費 2,000千円</p>			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	9,565			
担当課	地域づくり支援課 土木		課長名	村尾 正 尾橋 英憲	内線 1224 番号 2350

令和6年度 主な事務事業調

No. 14

事業名	海外引揚開始80年・世界記憶遺産登録10周年記念準備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	1,700 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>令和7年には、戦後・海外引揚開始80年、ユネスコ世界記憶遺産登録10周年という大きな節目を迎えるにあたり、「平和を希求する引き揚げのまち舞鶴」を積極的に発信し、国内外における認知度を高めるため、効果的なパブリシティ戦略をはじめとする強力なプロモーション活動を展開する。</p> <p>※パブリシティ 自ら情報を自主的にマスコミへ提供し、メディアを通して報道を依頼すること。</p>				
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○広域的なパブリシティ活動 ○メディア取材誘致 ○専門家、研究者へのアプローチ ○次世代語り部のネットワーク拡大と情報発信 			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	1,700	ふるさと応援寄附金		20
一般財源	-				
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名	奥本 護	
			外線番号	68-0836	

事業名	引揚の史実継承事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	7,071 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>「次世代へ」の継承事業としての教育旅行誘致をさらに推進するとともに、次世代を担う学生語り部を積極的に育成し、舞鶴モデルとして高く評価されている「次世代による次世代への継承」活動をさらに展開していく。</p> <p>また、「舞鶴引き揚げの日」の定着を図るとともに、オンラインやSNS等を活用したプロモーション等により、メディア露出の拡大に取り組む。</p>					
	事業の内容	<p>【次世代への継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平和学習、教育旅行の誘致 ○平和学習プログラムの充実 ○観光分野、農林水産分野、教育機関等と連携しSDGsや体験を取り入れた教育旅行の魅力向上する新規プログラムの開発 ○語り部養成講座の開催 ○資料収集・抑留者調査 ○収蔵資料の調査、アーカイブ化の推進 <p>【次世代による継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中高生語り部をはじめとする若い世代の活躍の場の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・同世代との交流の推進 ・国内外の学校、博物館等との交流の推進 ・活動の場の拡大・情報発信 				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	2,672	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	4,300	ふるさと応援寄附金	20		
	一般財源	99				
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名	奥本 護	外線番号	68-0836

令和6年度 主な事務事業調

No. 16

事業名	世界記憶遺産国際ブランド推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	3,700 千円			予算書	27 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>ユネスコ世界記憶遺産登録資料等を活用し、グローバルな視点で国際平和を願う歴史文化の交流・発信の拠点として、国内外の学校教育機関、博物館関係機関と連携したアウトリーチ活動をより積極的に実施する。</p> <p>また、国内外の教育機関や、引揚港の歴史を有する全国の都市の協力を得て、引き揚げに関係する話題を掘り起こし、国内外への発信を行うことで、舞鶴市及び舞鶴引揚記念館の国際ブランド力の強化に繋げる。</p>					
	事業の内容	<p>【国内外への情報発信】</p> <p>○関連施設との連携による巡回展示とプロモーションの実施</p> <p>【国内外の教育機関や博物館との連携による学び・交流の推進】</p> <p>○大学等の教育機関と連携した講演会や学生（中・高・大学生）世代間交流ワークショップの開催</p> <p>○オンラインを活用した次世代による国際的な交流の場の創出</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	3,700	ふるさと応援寄附金	20		
	一般財源	-				
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名	奥本 護	外線番号	68-0836

令和6年度 主な事務事業調

No. 17

事業名	世界記憶遺産資料保存活用事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	4,011 千円			予算書	27 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>ユネスコ世界記憶遺産登録資料をはじめとする引き揚げに関する所蔵資料を後世に永く引き継いでいくため、白樺日誌等の保存修復にかかる調査研究や館内の保存・展示環境の調査を実施するなど、世界的に重要な資料の保存と活用の両立を目指す。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○白樺日誌等の保存修復に係る調査研究 ○保存・展示環境の調査の実施 ○新収蔵庫中央監視装置・空調用自動制御機器保守点検の実施 ○常設展示内にある映像機器類・資料検索システムの更新

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	4,000	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	11		

担当課	舞鶴引揚記念館	課長名	奥本 護	外線番号	68-0836
-----	---------	-----	------	------	---------

令和6年度 主な事務事業調

No. 18

事業名	日本遺産活用推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	18,852 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」として日本遺産に認定されたストーリーや日本イコモス国内委員会の「日本の20世紀遺産20選」に選定された強みを活かし、旧軍港4市の強力な連携のもと積極的なプロモーションを展開することで交流人口増加を目指す。</p> <p>また、文化庁の「100年フード」にも認定されている、肉じゃがやカレーに代表される「海軍ゆかりの食文化」を活用した近代化のストーリーを全国に発信するため、9年ぶりに本市で「旧軍港四市グルメ交流会」を開催し、赤れんがパークのさらなる賑わいの創出と市民の郷土愛の醸成に繋げる。</p>				
	事業の内容	<p>旧軍港市日本遺産活用推進協議会と連携し、海軍舞鶴鎮守府ゆかりの歴史文化遺産を活用し積極的な観光プロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日本遺産MONTH」の開催 旧軍港4市が連携し、普段非公開の日本遺産構成文化財の特別公開等のイベントを開催 ○旧軍港4市グルメ交流会の開催（当番市） 各市の魅力を紹介する交流イベントを舞鶴市で開催 ○海軍グルメのプロモーション 肉じゃがやカレーなどの海軍ゆかりの食文化をテーマに、市内事業者や関係団体、大手企業との連携により商品開発やイベント等を開催 			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	7,412	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)		11
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	11,400	ふるさと応援寄附金		20
	一般財源	40			
担当課	観光振興	課	課長名	竹原 良治	内線番号 1261

令和6年度 主な事務事業調

No. 19

事業名	地方創生拠点整備事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	389,340 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>観光戦略拠点「舞鶴赤れんがパーク」周辺を、隣接する海上自衛隊施設との連携を図りながら、本市の豊かな自然と歴史・文化を次世代へ継承し発展させる拠点とするため、防衛省の「まちづくり支援事業」を最大限に活用した整備を進める。</p>
事業の内容	<p>【令和6年度事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤れんがパーク園路整備工事 (赤れんがパーク駐車場海側、旧文庫山学園周辺) 赤れんがパーク駐車場導入路(歩道橋)実施設計 防衛省用地(三角地)基本設計 等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	258,817	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金(7.5/10)	12
	府支出金	-		
	地方債	114,200	総務債	22
	その他	16,200	都市開発推進基金繰入金	20
	一般財源	123		

担当課	企画政策 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 20

事業名	舞鶴市SDGs未来都市推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	54,285 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	教育機関や企業など、市内外の多様な主体との連携を密にし、SDGs未来都市として目指す持続可能なまちづくりの実現に向け、先進技術の導入による地域交通の利便性向上や防災機能の強化等に取り組むとともに、これら様々な取組の周知活動を行い、一層の市民参画・理解を図る。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. 共助による移動手段（meemo）確立に向けたMa a S推進事業費 3,660千円（No.21） 2. 赤れんがコワーケーション推進事業費 18,256千円（No.22） 3. 産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費 10,200千円（No.23） 4. AI・ロボティクス業務効率化推進事業費 5,639千円 5. 舞鶴市SDGs未来都市周知活動事業費 500千円 6. 企業版ふるさと納税推進事業費 6,500千円 7. 舞鶴市SDGs若者チャレンジ事業費 9,530千円（No.24） 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	17,595	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	27,200	ふるさと応援寄附金	20
一般財源		9,490		

担当課	—	課	課長名	—	内線番号	—
-----	---	---	-----	---	------	---

令和6年度 主な事務事業調

No. 21

事業名	共助による移動手段（meemo）確立に向けたM a a S推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	3,660 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>令和6年度から高野地域の住民組織「高野地域協議会」が運営主体となる住民同士の助け合いによる移動マッチングサービス「meemo（ミーモ）」を将来にわたり持続可能なサービスとするため、地域に寄り沿った伴走支援を行う。</p>
事業の内容	<p>高野地域協議会が、自家用有償旅客運送制度（※）を活用して運行する「meemo（ミーモ）」の運営を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用有償旅客運送事業補助 3,000千円 ・運営伴走支援業務委託 660千円 <p>※自家用有償旅客運送制度 地域における輸送手段の確保が必要な場合、交通事業者等の関係者による協議を経た上で、非営利の住民組織等が道路運送法上の登録を受け、自家用車を用いて提供する運送サービス</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,830	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,800	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	30		

担当課	企画政策課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1330
-----	-------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 22

事業名	赤れんがコワーケーション推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	18,256 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>働き方改革の推進などにより、就業形態の多様化が進み、テレワークなど働く場所を自由に選択できる仕組みが浸透するなか、赤れんがコワーキングスペースを本市の交流の拠点として、利用者者同士の交流や大学のゼミ合宿の誘致など地域と関わる取組を促進する。</p> <p>また、教育機関等と連携した子どもを対象としたワークショップを継続的に開催し、若者や子どもたちがチャレンジできる環境を整えるための拠点として活用する。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○専属スタッフの配置 (施設の管理運営・利用者の交流促進・イベントの開催・広報活動) ○子ども向けワークショップの開催 (外国人移住者との交流、おさかな観察会、市内事業者の仕事体験 等) ○学生のゼミ合宿誘致 (地域や事業者との交流による関係人口の創出) ○地方で働きたい全国の若者と市内事業所等との雇用マッチング <p>※「赤れんがコワーキングスペース」については、赤れんがパーク官民連携型賑わい拠点創出事業により、赤れんがパークの運営を行っている㈱ウッディーハウスに令和7年度から運営がシフトできるよう、令和6年度中に調整を図る。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	7,991	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	10,200	ふるさと応援寄附金	20
一般財源		65		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	10,200 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	オムロンソーシアルソリューションズ株や舞鶴工業高等専門学校、KDDI株と連携し、リアルタイムの水位、浸水映像及び、内閣府SIPが開発した市町村災害対応統合システム等の災害予測データを活用し、市民の避難行動に繋がる情報発出を目指す「舞鶴市総合モニタリング情報配信システム」の構築をはじめ、産官学連携によるICTを活用した防災・減災の取組を進める。					
	事業の内容	○防災情報の見える化を図るポータルサイト「舞鶴市総合モニタリング情報配信システム」の整備等 <ul style="list-style-type: none"> ・外部システムとのデータ連携 ・トレイルカメラ（自動撮影カメラ）購入 ・雨量計設置 ・インフラ監視システム <サービス利用料、通信費、データ利用料等>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	4,955	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	5,200	ふるさと応援寄附金	20		
一般財源	45					
担当課	浸水対策 危機管理・防災	課	課長名	岡野 恭憲 西村 和宏	内線 番号	2310 2562

令和6年度 主な事務事業調

No. 24

事業名	舞鶴市SDGs若者チャレンジ事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	9,530 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>地元で地域課題解決に取り組んでいる市民団体・地元企業人などと、地域をフィールドとして学びたい学生と一緒に、「まなびあむ」や「CVM」を核にSDGs体験プログラムを実施し、地域課題の解決に取り組む関係人口の創出を図るとともに、将来の担い手育成、移住者となるきっかけをつくる。</p> <p>※CVM (Coworking Village MAIZURU) 赤れんがパーク3号棟2階のコワーキングスペース</p>
事業の内容	<p>地域と学生の信頼関係を深めるSDGs体験プログラムの実施</p> <p>【第1回】〈舞鶴を知る（一次産業、海洋プラスチック等）〉</p> <p>【第2回】〈地元事業者との交流等〉</p> <p>【第3回】〈地元事業者等に対する成果発表〉</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	9,500	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	30		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 25

事業名	新・舞鶴市史編さん事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	3,610 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>現有する市史は、昭和48年から平成6年まで23年間を要して全7巻が編さんされたが、その後、約30年が経過した中、改めて歴史的資料等を適切に整理・保存し、本市が歩んできた歴史をしっかりと未来に継承するとともに、未来に希望がもてる活力あるまちの展望につなげるため、市制施行80周年の記念事業の一環として、令和5年度から取り組んでいるものである。</p> <p>令和6年度は、市史編さん委員会を軸として、市史編さん実施計画に基づき、編さんに向けた具体的な取組を展開する。</p>
事業の内容	<p>1 市史の編さん (3,356千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①史料等の把握・調査 ②専門部会の設置 ③資料目録作成 <p>2 市民への情報の発信・共有 (254千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①市史編さん便り発行 (2回) ②市史講話会開催 (2回)

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,800	きょうと地域連携交付金(1/2)	15
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,810		

担当課	企画政策 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1330
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	＜概要版＞移住定住の推進の取組		
費目	款	総務費、民生費、労働費、農林水産業費、土木費	
事業費	74,593 千円	予算書	— 頁
		事業区分	新規・拡大・継続

事業目的	多様な移住施策を横断的に取り組み、本市への移住定住の促進を図る。		
事業内容	<p>1. 情報発信（舞鶴を『知ってもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住の流れをさらに飛躍させるため、移住定住ガイドブック、ポータルサイトによる情報発信機能の充実、移住相談会への参加等 【総務費】移住・定住促進総合戦略事業費 1,610千円(No.27) <p>2. サポート体制の充実（舞鶴を『選んでもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方での心豊かな暮らしと魅力的な仕事をセットでPRする「就業型移住」を推進 【総務費】地域おこし協力隊活動事業費 10,979千円(No.30) 【労働費】雇用対策協議会事業費補助金 6,654千円(No.74) <p>3. 補助制度等（舞鶴に『住んでもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が指定する居住誘導区域内及び府が指定する移住促進特別区域内で、空き家情報バンク制度を通じて空き家に入居する者が実施する住宅の改修費、空き家を提供する者が負担する準備経費に対する補助等 ・空き家を市が賃貸借しリフォームする「居住促進（お試し）住宅」の設置や東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対する支援 【総務費】まちなか暮らし推進事業費 7,611千円(No.28) 【総務費】わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金 5,600千円(No.29) 【総務費】地域の空き家掘り起こし事業費 210千円(No.32) 【土木費】まちなかエリア定住促進事業補助金 1,000千円 【農林水産業費】農村移住・交流促進事業費 18,377千円 【農林水産業費】漁業担い手育成支援事業費 1,910千円 内 漁村移住者受入促進事業費補助金 <p>（移住希望者も利用可能な補助制度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【民生費】子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費 7,900千円 <p>4. フォローアップ（舞鶴の『良さを広げてもらう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者のネットワークを構築し、それを活用したイベント等を開催 【総務費】新たな交流創造事業費 300千円(No.31) <p>5. 魅力ある大浦・加佐の地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大浦、加佐両地域活性化センターによる移り住みたくなる地域づくりを推進 【総務費】地域活性化推進事業費 12,442千円(No.10) 		

担当課	課	課長名	内線番号
移住・定住促進 地域づくり支援課 子ども支援 産業創造・雇用促進 農林水産振興 都市計画		砂田 敏昌 村尾 正 波多野 直樹 山本 仁士 中井 哲也 上羽 謙司	1331 1225 2150 1212 1240 2320

令和6年度 主な事務事業調

No. 27

事業名	移住・定住促進総合戦略事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	1,610 千円			予 算 書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>ライフスタイルの多様化により地方移住の関心が高まる中で、移住ポータルサイトを活用して移住施策等の情報発信を行うとともに、移住相談会などのイベントに参加するなど、総合的に施策を展開し移住を促進する。</p>				
	事業の内容	<p>移住者の受入地域や先輩移住者である移住サポーター、地域おこし協力隊と連携して、相談体制の充実と受入体制を強化する。</p> <p>①移住希望者を対象とした空き家情報バンク物件紹介のVR化など、ポータルサイトの充実と様々な媒体を活用した情報発信 ②ポータルサイト等により、移住施策をはじめ、雇用や子育て支援など、有益な情報発信を行い、若者や子育て世代へ積極的にアプローチ ③都市部（東京、大阪市、京都市）への移住相談会への積極的な参加</p>			
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	579	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11	
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		1,031			
担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331

事業名	まちなか暮らし推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	7,611 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>市外在住の子育て世代をターゲットに舞鶴における新たなライフスタイルを提供し、駅や病院、スーパーなどに近い好立地のまちなかへの定住を促進するため、空き家を利活用し、住民や自治会、舞鶴高専等と地域コミュニティを構築して、地域と連携した有効なまちなかの空き家活用を推進する。</p>
事業の内容	<p>舞鶴高専及び自治会等と連携し、空き家を市が直接賃貸借し、リフォームして子育て世代をターゲットとした「居住促進（お試し）住宅7号」を開設する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【制度の概要事例】</p> </div>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,490	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	3,060	雑入(家賃収入)	22
一般財源	2,061			

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,600 千円			予 算 書	27 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人材不足の解消を目的として、東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対して支援を行う。</p> <p>また、子育て世帯への支援を拡充し、若者世代の移住を促進する。</p>
事業の内容	<p>【対象者】 東京圏から舞鶴市へ移住・転入後、京都府に登録の事業所に就業した者、又は転入後も転職することなく引き続き転入前の就業先にテレワークにより勤務する「テレワーク移住者」 ※東京圏…東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県</p> <p>【補助額】 ◆単身で移住 60万円 ◆世帯で移住 100万円 ※拡充 18歳未満の世帯員1名につき100万円加算 (負担内訳：国1/2・府1/4・市1/4)</p> <p>【募集件数】 ◆単身で移住 1件 ◆世帯で移住 2件</p>

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,200	移住支援事業補助金(3/4)	15
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		1,400		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 30

事業名	地域おこし協力隊活動事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	10,979 千円			予算書	27 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>コロナ禍によるテレワーク普及などの影響で、都市部の若者等がこれからの暮らしについて見つめ直し、地方移住への関心が高まる中、全国の優秀な若者等から「地域おこし協力隊」を採用し、まちづくり活動をはじめ、本市の魅力発信等の活動を行い、更なる移住・定住の推進および関係人口の創出を推進する。</p>
事業の内容	<p>○地域おこし協力隊の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業や教育機関等と連携したまちづくり活動 ・全国版移住ポータルサイト等を活用した広報活動 ・任期：3年（最大） <p>※本事業に対する経費は特別交付税措置の対象 2名が活動予定</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph TD City[市] -- 覚書 --> Recipient[受入事業者] Recipient -- 委託契約 --> Team[協力隊員] City -- サポート --> Team </pre> </div>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	10,979		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 31

事業名	新たな交流創造事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	300 千円			予算書	28 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>舞鶴への移住を促すため、まずは舞鶴を知ってもらい、次に舞鶴を選んでもらう、そして舞鶴に住んでももらう、さらには移住された方に舞鶴の良さを広げてもらうという4ステップで施策を進める中、舞鶴に移住してこられた様々な職種や特技を持った方々を移住サポーターとして任命し、移住希望者からの相談対応や舞鶴の良さを広げてもらうことで円滑な移住の促進を図る。</p>				
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・移住サポーター制度の活用 移住希望者への情報発信や相談対応などをサポートするため、令和2年度に設置した移住サポーターと市が連携して、移住希望者及び移住者への情報発信や相談対応、移住者同士の交流促進等に取り組み、移住者の受入体制を強化する。 ・移住者交流会の開催 移住サポーターを中心に、移住希望者及び移住者同士の交流促進の場を提供。 			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	104	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11	
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	196			
担当課	移住・定住促進課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331

令和6年度 主な事務事業調

No. 32

事業名	地域の空き家掘り起こし事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	210 千円			予算書	28 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>移住促進を効果的に進めるため、空き家を登録し、移住希望者へ紹介する「空き家情報バンク」の充実と地域での移住者の受け入れ体制を強化し、移住への流れを促進する。</p>
事業の内容	<p>地域団体の働きかけにより、空き家所有者が地域と連携して空き家情報バンクへ新規登録を行った場合、その活動に対する報奨金を地域団体に支給する。</p> <p>【対象者】 区・自治会・振興協議会など</p> <p>【補助額】 1物件あたり3万円</p> <p>【条件】 空き家情報バンクへの登録だけでなく、移住者の受け入れ及び移住後の支援を積極的に行う団体等</p> <p>※事業期間：既存の移住促進特別区域では3年間 新規の移住促進特別区域では、区域指定から3年間</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	105	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		105		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	砂田 敏昌	内線番号	1331
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	多様なデジタル人材育成事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	3,700 千円			予算書	28 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>地方都市における女性活躍の環境づくりを目的に、働く意欲のある女性等を対象として、デジタルマーケティング分野で活躍できるスキルの習得をサポートし、女性の就労やキャリア形成を後押しするとともに、市内事業所のデジタル化やDXの促進、さらにはデジタル人材の地域への定着に向けた好循環を創出する。</p> <p>※デジタルマーケティング人材とは…SEO (Search Engine Optimization 検索エンジンを使ったマーケティング戦略) 対策やSNS、メール等を活用したコンテンツマーケティングの運用、会社の魅力を伝える文章や写真の作成等ができる人材</p>					
	事業の内容	<p>▽デジタルマーケティングの重要性を学ぶセミナー開催 ▽デジタルマーケティング人材育成プログラムの実施 (デジタル人材育成の専門家による講義等) ▽プログラム受講者のキャリア相談 ▽市内・外事業所へのインターンシップの実施</p> <p>※参考 (R5年度実績) ▽デジタルマーケティング人材育成プログラム 修了者10名</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	2,625	地域女性活躍推進交付金(3/4)	12		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	200	雑入(受講料)	22		
一般財源		875				
担当課	人権啓発推進 産業創造・雇用促進	課	課長名	吉田 雅樹 山本 仁士	内線 番号	1271 1212

事業名	マザーズジョブカフェ推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	6,164 千円			予算書	28 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>男女共同参画センター「フレアス舞鶴」を拠点に、施設の一部をコワーキングスペースとして活用するとともに、子どもの「短時間一時預かり」を行い、子育て中の女性の就労に向けたスキルアップやリモートワークの時間を確保できるよう支援を行う。</p> <p>また、市内事業所と連携し、女性をはじめとする多様な人材を活用し、男性も女性も働きやすい魅力ある会社づくりに向けた取組を行う。</p>				
	事業の内容	<p>▽働きたい女性、子育て世代をターゲットとしたコワーキングスペースを提供</p> <p>▽託児ルームでの「短時間一時預かり」を実施（週2回）</p> <p>▽女性活躍を後押しするスキルアップセミナーや研修の開催</p> <p>▽多様な人材活用を図るためのワークショップ等を開催（市内事業所等への働きかけ）</p>			
財源内訳		<p>事業費内訳</p> <p>①フレアス舞鶴職員人件費（2名分）・・・3,907千円</p> <p>②セミナー等開催経費・・・・・・・・・・754千円</p> <p>③短時間一時預かり実施経費・・・・・・・・1,503千円</p>			
	区分		金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
国支出金		2,750	地域女性活躍推進交付金(1/2)、子ども・子育て支援交付金(1/3)	12	
府支出金		420	子ども・子育て支援交付金(1/3)	15	
地方債		-			
その他		242	雑入（託児料）	22	
一般財源		2,752			
担当課	人権啓発推進課	課長名	吉田 雅樹	内線番号	1271

令和6年度 主な事務事業調

No. 35

事業名	2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組					
費目	款	総務費 商工費	項	総務管理費 商工費	目	交通対策費 観光振興費 貿易振興費
事業費	5,250 千円			予算書	28・53・54 頁	
				事業区分	新規 拡大 継続	

事業の目的	令和7年度に開催される2025年大阪・関西万博を契機として、インバウンドを含めた広域からの誘客を図るとともに、広域交通ネットワークの活性化、京都舞鶴港を活用した訪日外国人の受け入れを推進し、本市への人流を生み出す契機となる事業を実施する。		
事業の内容	<p>1. 高浜町と連携した取組 1,700千円 (No.36)</p> <p>2. 2025年大阪・関西万博連携事業費 2,200千円 (No.90)</p> <p>3. 京都舞鶴港振興事業費 (うち関連経費分) 1,350千円 (No.101)</p>		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,950	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11・13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		3,300		

担当課	企画政策 観光振興 みなと振興・国際交流	課	課長名	松岡 幸治 竹原 良治 中山 隆司	内線 番号	1330 1261 1250
-----	----------------------------	---	-----	-------------------------	----------	----------------------

令和6年度 主な事務事業調

No. 36

事業名	高浜町と連携した取組					
費目	款	総務費 商工費	項	総務管理費 商工費	目	交通対策費 観光振興費
事業費	1,700 千円			予算書	28・53 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>今春の北陸新幹線金沢・敦賀間の開業や2025年の大阪・関西万博の開催を見据え、人流拡大の機会を最大限に生かすため、「舞鶴市・高浜町連携プロジェクトアクションプラン（2023～2025）」に基づき、高浜町と交通・観光分野における連携した取組を実施することにより、広域交通ネットワークの活性化及び観光ブランディングの推進を目指す。</p>					
事業内容	<p>■舞鶴市・高浜町連携鉄道誘客・公共交通利用促進事業費 500千円</p> <p>(1) 鉄道誘客促進事業 ・JR新たな観光列車「はなあかり」おもてなし事業 ・北陸新幹線敦賀開業を生かしたJR小浜線誘客促進事業</p> <p>(2) 公共交通利用促進事業 ・バスの乗り方教室等のモビリティ・マネジメントの実施</p>					
	<p>■舞鶴市・高浜町連携青葉山エリアブランディング事業費 1,200千円</p> <p>・「吉坂堡壘砲台」のモニターツアーの開催、環境整備の検討 ・青葉山エリア地域資源マップの作成 ・赤れんがパーク・ハーバルビレッジ連携イベントの開催 ・効果的なエリアプロモーションによる情報発信 ・観光協会、生産者、飲食店、アーティスト等による連携ブランディング会議の開催支援</p>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	850	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	11・13		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	850				
担当課	企画政策 観光振興	課	課長名	松岡 幸治 竹原 良治	内線 番号	1330 1261

事業名	舞鶴市公共交通ネットワーク会議事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	730 千円			予算書	28 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>持続可能で利便性の高い公共交通を目指し、「舞鶴市公共交通ネットワーク会議」が地域公共交通計画に基づき実施する公共交通利用促進事業に対して支援を行う。</p>
事業の内容	<p>■ 地域公共交通計画に基づく公共交通利用促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モビリティ・マネジメントイベント（のり乗りフェスタ）の開催 ・JRポケット時刻表、路線バスマップの作成 ・西舞鶴駅東口大型看板の掲載内容更新

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		730		

担当課	企画政策課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1330
-----	-------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 38

事業名	舞鶴市交通対策協議会事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	2,600 千円			予算書	28 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>令和5年4月から自転車用ヘルメットの着用が努力義務化されたことに伴い、市民の生命保護と安全な自転車の利用促進のため、自転車用ヘルメットの購入費用について舞鶴市交通対策協議会を通じて新たに支援を実施する。</p>			
	事業の内容	<p>【新たな補助内容】 ◆自転車用ヘルメット購入費用の支援 2,000千円 ・対象：舞鶴市在住の方 ・補助率：10/10 ・補助上限額：2,000円/人 ※年齢や所得による制限なし ※一人につき1回限り ※実施期間は3年間</p>		
事業の内容		<p>【従来からの補助内容】 ◆交通情勢に対応した街頭啓発活動費 560千円 ・啓発用グッズの配布（年4回の交通安全運動、街頭啓発時） ・市役所前広報板の作成等</p>		
	◆総会開催経費：40千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,000	きょうと地域連携交付金(1/2)	15
	地方債	-		
	その他	5	交通安全教育推進基金利子	19
	一般財源	1,595		
担当課	地域づくり支援課	課長名	村尾 正	内線番号 1225

令和6年度 主な事務事業調

No. 39

事業名	北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	121,957 千円			予算書	28 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>京都丹後鉄道の線路・車両等の基盤等保有会社である北近畿タンゴ鉄道が、運行の安全を確保するために実施する事業等に対し、国及び沿線自治体（2府県及び5市2町）により支援を行う。</p> <p>また、京都丹後鉄道の利用促進のため沿線市町（6市2町）で構成する「京都丹後鉄道利用促進協議会」の運営等のため、分担金を負担する。</p>		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北近畿タンゴ鉄道基盤管理補助 51,579千円 基盤管理委託料、管理経費分に対する補助 ・北近畿タンゴ鉄道経営対策補助 12,437千円 固定資産税相当額分、西駅交流センター賃借料分に対する補助 ・地域公共交通再構築事業費補助 57,756千円 「京都丹後鉄道沿線地域公共交通計画」に基づいて実施する持続可能性・利便性・効率性の向上に資する鉄道施設の設備投資・更新に対する補助 ・協議会分担金等 185千円 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	28,877	社会資本整備総合交付金(1/2)	12
	府支出金	-		
	地方債	28,800	総務債	22
	その他	-		
	一般財源	64,280		

担当課	企画政策課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1330
-----	-------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 40

事業名	バス路線維持確保対策費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	86,650 千円			予 算 書	28 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民生活の移動手段として重要な役割を果たすバス路線の維持確保を図るため、国、府と共に支援を行う。					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都交通バス路線への補助 67,800 千円 高浜線、大江線（2系統）、東西循環線（2路線）、和田線、常・溝尻循環線、朝来循環線、三浜線、田井・野原線（5系統）、長浜循環線、真倉線、市場循環線 ・ 自主運行バス路線（7地域）への補助 18,850 千円 岡田上バス、岡田中バス、池内バス、西大浦バス、青井校区バス、杉山・登尾バス、多門院バス 					
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）			予算書
	国支出金	-				
	府支出金	31,000	市町村運行確保生活路線維持費補助金（1/2）			15
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	55,650				
担当課	企画政策 課		課長名	松岡 幸治		内線番号 1330

令和6年度 主な事務事業調

No. 41

事業名	重層的支援体制整備事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉総務費
事業費	22,156 千円			予 算 書	32 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>各福祉分野ごとの『縦割り』や、「支える側」「支えられる側」という従来の関係を超え、住民、地域、福祉関係団体等が、世代や分野を超えてつながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく「地域共生社会」を実現するため、社会福祉法の改正により制度化された「重層的支援体制整備事業」の令和7年度からの本格実施に向けた「移行準備事業」に取り組むもの。</p>					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会に「包括化推進員」3名と生活支援相談課に「庁内包括マネージャー」1名を配置し、複合・複雑化した課題に対し、「高齢」「障害」「子ども」「生活困窮」などの分野を超えて、多機関が連携する相談支援体制を構築 (多機関協働事業・庁内連携体制の構築等の取組) ・既存の支援サービスでは対応できない課題に対し、新たな支援サービスの創出を検討し試行実施 (ごみ屋敷状態にある対象者の自立支援等) 				
財源内訳		区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書	
	国 支 出 金	16,167	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金 (3/4) 生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 (3/4)	11・12		
	府 支 出 金	-				
	地 方 債	-				
	そ の 他	-				
	一 般 財 源	5,989				
担当課	福祉企画	課	課長名	山本 仁志	内線 番号	2290

令和6年度 主な事務事業調

No. 42

事業名	障害者自立支援給付費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費 児童福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費 児童福祉措置費
事業費	2,171,378 千円			予算書	33・34・ 35・39 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、障害者総合支援法に基づく下記の事業を実施するもの。		
事業の内容	<p>【自立支援給付】 2,063,669千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設支援給付費 1,625,152千円 ○短期入所（ショートステイ）給付費 32,325千円 ○居宅介護（ホームヘルプ）給付費 102,143千円 ○障害者共同生活援助給付費（グループホーム） 247,773千円 ○重度視覚障害（児）者同行援護給付費 19,773千円 ○障害者計画相談支援給付費 36,403千円 ○障害者虐待防止支援事業費 100千円 <p>【自立支援医療給付（更生医療・育成医療等）】 78,709千円 [更生医療 77,660千円、育成医療（児童福祉措置費）1,049千円]</p> <p>【補装具給付】 29,000千円</p>		

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	1,085,245	障害者介護給付・訓練等給付費負担金(1/2) 障害者医療費(育成医療)負担金(1/2)ほか	11
	府支出金	542,923	障害者介護給付・訓練等給付費負担金(1/4) 障害者自立支援医療費(育成医療)負担金(1/4)ほか	14
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	543,210		

担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援 課	課長名	島田 敦司 波多野 直樹	内線 番号	2130 2150
-----	----------------------	-----	-----------------	----------	--------------

令和6年度 主な事務事業調

No. 43

事業名	障害者地域生活支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費
事業費	119,867 千円			予算書	34・35 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、下記の市町村独自事業を実施するもの。			
	<p>【地域生活支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者相談支援事業費 26,400千円 (4か所の障害者支援センターによる相談支援) ○地域活動支援センター事業費 30,000千円 ○障害(児)者等移動支援事業費 3,600千円 (重度身体障害者等の移動支援) ○聴覚言語障害者等支援事業費 16,115千円 (手話通訳者の設置、要約筆記者等の派遣) ○日常生活用具給付事業費 26,650千円 ○障害(児)者日中一時支援事業費 9,182千円 ○心身障害者訪問入浴サービス事業費 7,485千円 ○成年後見制度利用支援事業費 435千円 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	46,734	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	12
	府支出金	23,366	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	15
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		49,767		
担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援 課	課長名	島田 敦司 波多野 直樹	内線 2130 番号 2150

事業名	重度心身障害児（者）医療助成費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉援護費
事業費	128,725 千円			予算書	35 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>重度心身障害児（者）の健康の保持及び福祉の増進を図るため、医療費の助成を行っているが、京都府の制度改正により、対象者に重度精神障害者が追加されることに伴い、制度拡充を行う。</p>				
事業の内容	<p>重度心身障害児（者）医療助成等の対象者について、現行の身体障害や知的障害のある方に加え、精神障害のある方にも対象を拡充</p> <p><制度対象者></p> <table border="1"> <tr> <td>現行</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1・2級保持者 概ねIQ35以下の知的障害者 身体障害者手帳3級保持かつ概ねIQ50以下の重複障害者 </td> </tr> <tr> <td>拡充 (※)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 精神障害者保健福祉手帳1級保持者 精神障害者保健福祉手帳の更新により、1級から2級へ障害等級が変更となった者（次回手帳更新まで） 精神障害者保健福祉手帳2級を保持し、身体障害者手帳3級保持又は概ねIQ50以下の重複障害者 </td> </tr> </table> <p>※ 令和6年8月診療分から開始予定</p> <p><制度拡充に伴う医療助成費の増加見込み></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年8月診療分以後の増加額 約60万円と想定 	現行	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1・2級保持者 概ねIQ35以下の知的障害者 身体障害者手帳3級保持かつ概ねIQ50以下の重複障害者 	拡充 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者保健福祉手帳1級保持者 精神障害者保健福祉手帳の更新により、1級から2級へ障害等級が変更となった者（次回手帳更新まで） 精神障害者保健福祉手帳2級を保持し、身体障害者手帳3級保持又は概ねIQ50以下の重複障害者
現行	<ul style="list-style-type: none"> 身体障害者手帳1・2級保持者 概ねIQ35以下の知的障害者 身体障害者手帳3級保持かつ概ねIQ50以下の重複障害者 				
拡充 (※)	<ul style="list-style-type: none"> 精神障害者保健福祉手帳1級保持者 精神障害者保健福祉手帳の更新により、1級から2級へ障害等級が変更となった者（次回手帳更新まで） 精神障害者保健福祉手帳2級を保持し、身体障害者手帳3級保持又は概ねIQ50以下の重複障害者 				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	64,362	福祉医療助成事業費補助金(1/2)	15
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		64,363		

担当課	保険医療課	課長名	山本 哲也	内線番号	2160
-----	-------	-----	-------	------	------

事業名	公立保育所施設整備事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉総務費
事業費	14,100 千円			予算書	37 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>築40年以上が経過し、老朽化が著しい「市立中保育所」について、子育て環境のさらなる充実を目指し、将来を見据えた本市の中核的な保育施設として再整備するため、新園舎の建設に向けた設計業務等を行う。</p>										
事業の内容	<p>1. 対象施設 舞鶴市立中保育所（舞鶴市字余部下1063番地）</p> <p>《現行施設の概要》</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>建築年月：</td> <td>昭和56年3月</td> </tr> <tr> <td>建物構造：</td> <td>鉄骨造・平屋建</td> </tr> <tr> <td>延床面積：</td> <td>1,183.33㎡</td> </tr> <tr> <td>利用定員（0歳～5歳）：</td> <td>200名</td> </tr> <tr> <td>※ 在籍児童数：</td> <td>95名（令和6年2月1日現在）</td> </tr> </table> <p>2. 新たな施設の整備予定地 中総合会館南側敷地（舞鶴市字余部下）</p> <p>[参考 債務負担行為] ○期間 令和6年度～令和7年度 ○限度額 42,000千円</p>	建築年月：	昭和56年3月	建物構造：	鉄骨造・平屋建	延床面積：	1,183.33㎡	利用定員（0歳～5歳）：	200名	※ 在籍児童数：	95名（令和6年2月1日現在）
建築年月：	昭和56年3月										
建物構造：	鉄骨造・平屋建										
延床面積：	1,183.33㎡										
利用定員（0歳～5歳）：	200名										
※ 在籍児童数：	95名（令和6年2月1日現在）										

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	14,100	児童福祉債	22
	その他	-		
一般財源		-		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	森 輝明	内線番号	2471
-----	-----------	-----	------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 46

事業名	保育所・認定こども園運営事業（全体）				
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目 児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	2,424,568 千円			予算書	38・39・ 40・66 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>本市の「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、必要な保育サービスの提供量の確保及び質の向上を図り、より良好な保育の環境づくりを推進する。</p> <p>また、「幼保連携型認定こども園」への移行を着実に推進することにより、0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制のさらなる充実を図る。</p>			
事業の内容	<p>1. 民間認可保育園（2園・定員 150人）</p> <p>① 保育委託事業費 195,566千円</p> <p>2. 民間認定こども園（13園・定員 1,369人）</p> <p>② 施設型給付費（2・3号） 1,194,603千円</p> <p>③ 施設型給付費（1号）〈教育費〉 363,622千円</p> <p>3. 民間認可保育園・民間認定こども園等に対する各種事業</p> <p>④ 保育士の処遇改善事業費補助金 39,888千円</p> <p>⑤ 保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助金 1,920千円</p> <p>⑥ 保育士就労奨励事業費 5,500千円</p> <p>⑦ 保育士の就業促進補助金 2,926千円</p> <p>⑧ 保育利用児童受入促進事業費 13,579千円</p> <p>⑨ 一時預かり事業費補助金〈民生費・教育費〉 30,079千円</p> <p>⑩ 延長保育促進事業費補助金 4,931千円</p> <p>⑪ 保育所等発達支援事業費補助金 28,740千円</p> <p>⑫ 保育所等運営・人材確保基盤強化支援事業補助金 2,939千円</p> <p>⑬ 保育所等施設整備資金借入金利子補給金 501千円</p> <p>4. 公立保育所（2園・定員350人）</p> <p>⑭ 運営費 396,870千円</p> <p>5. 公立認定こども園（1園・定員93人）</p> <p>⑮ 運営費 142,904千円</p>			

財源	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
内訳	国支出金	885,201	子どものための教育・保育給付交付金 (1/2、58.23/100) 他	11・ 12・13
	府支出金	478,720	子どものための教育・保育給付交付金 (20.885/100、1/4) 他	14・15・ 16・18
	地方債	2,000	児童福祉債	22
	その他	69,715	保育所保育料、保育所使用料、認定こども園使用料、雑入（給食代） 他	7・8・ 20・22
	一般財源	988,932		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	森 輝明	内線 番号	2471
-----	-----------	-----	------	----------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 47

事業名	医療的ケア児支援事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	16,833 千円			予算書	38 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的 日常的に人工呼吸器の管理やたん吸引などの医療的ケアを必要とする児童とその家族が安全・安心に生活できるよう、介護負担の軽減や保育所等での受け入れを行う。
また、医療的ケア児等コーディネーターを配置し、個々の状況に応じて関係分野との調整を行うことで、切れ目のない支援体制の構築を目指す。

事業内容	【事業概要】	
	①医療的ケア児居宅生活支援事業	4,770千円
	・居宅医療的ケア児支援 (居宅や通園先に看護師等を派遣し、家族の負担を軽減する)	
	・福祉タクシー利用券交付(通院等外出支援)	
	②医療的ケア児等コーディネーター委託事業	682千円
③医療的ケア児障害児通所給付費	2,690千円	
・短期入所受入体制補助		
・短期入所開始アセスメント補助		
・相談支援専門員モニタリング補助		
④医療的ケア児日常生活用具給付費	300千円	
・日常生活用具として、非常用電源を給付		
⑤保育所での医療的ケア児受け入れのための看護師配置	8,391千円	

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内	国支出金	2,876	児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金(1/2) 障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	12
	府支出金	9,718	保育対策総合支援事業費補助金(5/6) 児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金(1/4) 障害者地域生活支援事業費補助金(1/4) 医療的ケア児者・重症心身障害児者福祉サービス利用等促進事業補助金(1/2)	16
記	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	4,239		

担当課	子ども支援課 幼稚園・保育所課	課	課長名	波多野直樹 森 輝明	内線 番号	2150 2471
-----	--------------------	---	-----	---------------	----------	--------------

事業名	乳幼児教育充実・強化推進事業費					
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目	児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	12,851 千円			予算書	38・40・66 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	<p>「主体性を育む乳幼児教育の推進」を基本理念とする乳幼児教育ビジョンに基づき、市民の乳幼児教育への理解を深め、保育者・教員の研修による質の維持・向上を図るとともに、保育所・幼稚園・認定こども園から小学校への円滑な接続を目指し、保幼小連携の一層の充実を図ることにより、“子どもの豊かな育ちと学びへの支援”を強化する。</p> <p>また、「舞鶴市乳幼児教育センター」を拠点とし、当該ビジョンに基づいた乳幼児教育の実践の推進や情報発信、保育者の育成強化等に取り組むことで当該ビジョンの具現化をさらに推し進め、乳幼児教育の充実を目指す。</p>																			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児教育ビジョン及びビジョンに基づく実践の周知・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター等の発行：7回、 ・出前講座等の実施：5回 ■ 保育者研修・育成に基づく乳幼児教育の質の向上研修 <ul style="list-style-type: none"> ・公立・私立園の保育者・小学校教員が共に学ぶ研修等の実施 公開保育、人権・マネジメント・安全管理等の研修 ■ 保幼小中接続カリキュラムの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力園校の連携活動の充実・強化 ・5歳児と1年生の架け橋期カリキュラム研究 ■ 「乳幼児教育センター」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育コーディネーター・相談員等の配置 ・センター運営会議の開催 等 																			
内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border: none;">【民生費】</td> <td style="border: none;">児童福祉措置費</td> <td style="border: none;">(民間保育園・民間認定こども園)</td> <td style="border: none;">800千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">保育所費</td> <td style="border: none;">(公立保育所)</td> <td style="border: none;">404千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">認定こども園費</td> <td style="border: none;">(公立認定こども園)</td> <td style="border: none;">158千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">【教育費】</td> <td style="border: none;">幼稚園費</td> <td style="border: none;">(乳幼児教育全般)</td> <td style="border: none;">11,489千円</td> </tr> </table>				【民生費】	児童福祉措置費	(民間保育園・民間認定こども園)	800千円		保育所費	(公立保育所)	404千円		認定こども園費	(公立認定こども園)	158千円	【教育費】	幼稚園費	(乳幼児教育全般)	11,489千円
【民生費】	児童福祉措置費	(民間保育園・民間認定こども園)	800千円																	
	保育所費	(公立保育所)	404千円																	
	認定こども園費	(公立認定こども園)	158千円																	
【教育費】	幼稚園費	(乳幼児教育全般)	11,489千円																	
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書																
	国支出金	6,425	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金(1/2)、教育支援体制整備事業費交付金(1/2)	12・13																
	府支出金	-																		
	地方債	-																		
	その他	2,270	ふるさと応援寄附金、ふるさと応援基金繰入金	20・21																
	一般財源	4,156																		
担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	森 輝明	内線 番号	2471															

事業名	私立認定こども園移行改修費支援事業費補助金				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	219,186 千円			予算書	38 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	「幼保連携型認定こども園」への移行を目指す私立幼稚園に対して、認定こども園の認可・開設に向け必要な施設改修費を支援することにより、円滑な移行を推進するとともに、新たに「3号認定子ども」（0歳児～2歳児）の受け入れが可能な体制を整備・促進することにより、待機児童ゼロを確保するなど子育て環境の充実を図る。
事業の内容	<p>【対象施設】 学校法人聖ヨゼフ学園 舞鶴聖母幼稚園</p> <p>【工事内容（予定）】 現園舎の建替整備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新園舎の施設規模等：木造・平屋建、延床面積 933.05㎡ ● 建設事業費（補助対象事業分）：約4億1,750万円 うち、令和6年度執行予定額：約2億9,225万円 ● 工期：令和5年7月～令和7年3月（予定） 令和5年度 詳細設計業務、仮園舎整備工事 他 令和6年度 新園舎整備工事、現園舎解体工事 他 <p>※ 給食調理室及び乳児用保育室の整備を含む</p> <p>【負担割合】 〔保育部分〕 国：2/3、市：1/12、事業者：1/4 〔教育部分〕 国：1/2、市：1/4、事業者：1/4</p>
内容	<p>※ 幼保連携型認定こども園へ移行し、令和7年4月の開設を目指す。 〔移行後の定員（見込み）〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育標準時間認定（1号） 45名 ・保育認定（2号・3号） 48名（うち、0歳児～2歳児 18名） <p>計 93名</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	168,771	就学前教育・保育施設整備交付金(1/2、2/3)	12
	府支出金	-		
	地方債	50,400	児童福祉債	22
	その他	-		
一般財源		15		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	森 輝明	内線番号	2471
-----	-----------	-----	------	------	------

事業名	将来を見据えた保育人材確保事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	36,944 千円			予算書	38 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>0歳児から2歳児における保育ニーズが依然として高い状況の中、直面する保育士不足の課題に対応するため、保育現場で働く保育士等の業務を補助・サポートする「保育補助者」の配置を促し、保育士等の業務負担を軽減することにより、現役保育士等の離職防止を図るとともに、保育士等が働きやすい職場環境を整備する。</p> <p>併せて、保育補助者に対する保育士資格等の取得促進を図り、将来的な保育人材の確保につなげる。</p>
事業の内容	<p>■事業概要</p> <p>保育士等の業務負担の軽減を図るためのサポート役として、保育士資格等の取得を目指す保育補助者の配置を行う保育施設に対し、その人件費の一部を補助する。</p> <p>■補助対象者</p> <p>認可保育所、認定こども園（いずれも、民間施設） ※ ただし、3号認定子ども（0～2歳児）の受入施設に限る。</p> <p>■補助基準額（年額）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員121人以上 4,618千円 ・定員121人未満 2,309千円 <p>■負担割合</p> <p>国 3/4、市 1/4</p> <p>※ 各施設において、概ね1～2名程度の配置を想定</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	27,708	保育対策総合支援事業費補助金(3/4)	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		9,236		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	森 輝明	内線番号	2471
-----	-----------	-----	------	------	------

事業名	保育所等安心生活緊急支援事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費
事業費	1,650 千円			予算書	38・40 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>令和5年7月に取りまとめられた国の「こども・若者の性被害防止のための緊急対策パッケージ」に基づき、保育所等において、特に被害を認識すること自体が難しく、また相談することも困難な“子ども”に対し、性被害の未然防止と早期発見につながる被害防止対策を強力に推進し、子どもが安心して利用できる教育・保育環境のさらなる充実を図る。</p>
事業の内容	<p>【事業概要】 子どもが長く過ごす場となる保育所等において、子どものプライバシー保護や権利擁護に配慮するために必要な設備等の導入経費の一部を補助する。</p> <p>【対象施設】 認可保育所、認定こども園</p> <p>【補助対象経費】 パーテーション、簡易扉、簡易更衣室、カメラ、人感センサーライト等</p> <p>【補助基準額】 1施設あたり 100千円</p> <p>【負担割合】 国：1/2、市：1/4、事業者：1/4</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,050	保育所等における性被害防止対策に係る設備等支援事業費補助金(1/2)	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	600		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	森 輝明	内線番号	2471
-----	-----------	-----	------	------	------

事業名	保育所等に係る衛生環境充実の取組				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費
事業費	500 千円			予算書	38・40 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>保育中に発生する園児の「使用済みおむつ」について、保育施設内での廃棄処分を促進することにより、当該おむつの持ち帰り対応によって生じる保護者及び保育士の負担軽減や、感染症等の衛生上のリスク低減を図るとともに、保育サービスのさらなる向上と衛生環境の充実を図る。</p>												
事業の内容	<p>保育施設等が「使用済みおむつ」を自園で廃棄処分するにあたり、必要な専用ごみ袋（事業者用）を在籍園児数等に応じて無償で支給する。</p> <p>【対象施設】 ①認可保育所、認定こども園、認可外保育施設 ※ 0～2歳児の受入施設であって、公立を含む。 ②幼稚園（保育利用児童受入促進事業を実施する施設に限る。）</p> <p>【事業概要】 事業用指定ごみ袋（45リットル）の支給 ・年間の総支給枚数 約12,000枚</p> <p>※ 令和5年7月から当該事業に着手しており、上記の全ての施設において、「使用済みおむつ」を施設内で廃棄処分する体制は整備済である。</p>												
内容	<table border="1"> <tr> <td>保育所等衛生環境充実事業費</td> <td>（児童福祉措置費）</td> <td>404千円</td> </tr> <tr> <td>公立保育所衛生環境充実事業費</td> <td>（保育所費）</td> <td>72千円</td> </tr> <tr> <td>公立認定こども園衛生環境充実事業費</td> <td>（認定こども園費）</td> <td>24千円</td> </tr> </table>				保育所等衛生環境充実事業費	（児童福祉措置費）	404千円	公立保育所衛生環境充実事業費	（保育所費）	72千円	公立認定こども園衛生環境充実事業費	（認定こども園費）	24千円
保育所等衛生環境充実事業費	（児童福祉措置費）	404千円											
公立保育所衛生環境充実事業費	（保育所費）	72千円											
公立認定こども園衛生環境充実事業費	（認定こども園費）	24千円											
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書									
	国支出金	-											
	府支出金	-											
	地方債	-											
	その他	-											
	一般財源	500											
担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	森 輝明	内線番号 2471									

令和6年度 主な事務事業調

No. 53

事業名	子育て支援医療助成費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費
事業費	252,410 千円			予算書	39 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを支援するため、令和6年1月から中学生の外来診療に係る医療費の自己負担を1医療機関につき1か月200円となるよう制度の拡充を行った。</p> <p>令和6年度からは、対象を<u>18歳まで(※)</u>拡大し、出生から切れ目のない医療費助成を行うことで更なる子育て世帯の負担軽減につなげる。</p>																	
	<p>新たに令和6年9月診療分から、<u>18歳まで(※)</u>の入院・外来受診に係る医療費について、1医療機関につき1か月200円となるよう助成を行う。</p> <p>【現行】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>0歳～中学生</td> <td>18歳まで(※)</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1か月1医療機関につき200円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通院</td> <td>1か月1医療機関につき200円</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【令和6年9月診療分から】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>0歳～中学生</td> <td>18歳まで(※)</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1か月1医療機関につき200円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>通院</td> <td>1か月1医療機関につき200円</td> <td></td> </tr> </table> <p>事業費のうち、制度拡充分 16,600千円 <u>(※) 18歳到達後の最初の年度末まで</u></p>		0歳～中学生	18歳まで(※)	入院	1か月1医療機関につき200円		通院	1か月1医療機関につき200円			0歳～中学生	18歳まで(※)	入院	1か月1医療機関につき200円		通院	1か月1医療機関につき200円
	0歳～中学生	18歳まで(※)																
入院	1か月1医療機関につき200円																	
通院	1か月1医療機関につき200円																	
	0歳～中学生	18歳まで(※)																
入院	1か月1医療機関につき200円																	
通院	1か月1医療機関につき200円																	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	108,975	子育て支援医療助成事業費補助金(1/2)	16
	地方債	-		
	その他	34,400	ふるさと応援寄附金	20
一般財源		109,035		

担当課	保険医療課	課長名	山本 哲也	内線番号	2160
-----	-------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 54

事業名	児童手当給付費		
費目	款	民生費	項
			児童福祉費
			目
			児童福祉措置費
事業費	1,133,500 千円		予算書
			39 頁
			事業区分
			新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	次代を担う全ての子どもの成長を支えるため、今般、政府が決定した「こども未来戦略」に基づき、児童手当の給付対象を拡充し、基礎的な経済的支援を行う。			
	令和6年10月分の手当（令和6年12月支給分）から、下記のとおり、支給対象の拡大や所得制限の撤廃、第3子以降を月額3万円とするなど、制度を拡充する。			
事業の内容	拡充前（令和6年9月分まで）		拡充後（令和6年10月分から）	
	支給対象	中学校修了（15歳到達後の最初の年度末）まで	高校生年代（18歳到達後の最初の年度末）まで	
業	所得制限	所得制限限度額以上の場合、月額5千円の特例給付 ※配偶者、子2人扶養の場合の年収ベースで960万円以上	所得制限なし	
		所得上限限度額以上の場合、支給対象外 ※配偶者、子2人扶養の場合の年収ベースで1,200万円以上		
内容	3歳未満	一律	15,000円	第1子、第2子 15,000円 第3子以降 30,000円
		3歳～小学校修了まで	第1子、第2子 10,000円 第3子以降 15,000円	第1子、第2子 10,000円 第3子以降 30,000円
	中学生	一律	10,000円	
	高校生の年代	支給なし		
	※第3子以降の数え方	高校生年代までがカウント対象		22歳の年度末までがカウント対象（大学生に限らない）
支給月	年3回（2、6、10月） ※各前月までの4か月分を支給		年6回（偶数月） ※各前月までの2か月分を支給	
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	778,117	児童手当負担金（37/45、2/3）	11
	府支出金	174,251	児童手当負担金（4/45、1/6）	14
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源	181,132			
担当課	子ども支援	課	課長名	波多野 直樹
			内線番号	2150

令和6年度 主な事務事業調

No. 55

事業名	放課後児童クラブ整備事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	23,014 千円			予 算 書	39 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	放課後児童クラブを利用する児童が快適で安全・安心に利用できる環境を整備するため、放課後児童クラブ室の改修工事を計画的に実施する。
事業の内容	<p>【対象児童クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○倉梯小学校区地域放課後児童クラブ（第1・第2クラブ） <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容 長寿命化改修工事（壁面改修、電気工事等） ・工事期間 令和5年度～令和6年度（債務負担行為） ・利用児童数 2クラブ合計 約70名 ○明倫小学校区地域放課後児童クラブ（第1クラブ） <ul style="list-style-type: none"> ・工事内容 空調設備更新工事 ・利用児童数 約30名

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	7,631	子ども・子育て支援整備交付金 (1/3)	12
	府 支 出 金	7,631	子ども・子育て支援整備交付金 (1/3)	16
	地 方 債	7,500	児童福祉債	22
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	252		

担当課	子ども支援 課	課長名	波多野 直樹	内線番号	2150
-----	---------	-----	--------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 56

事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	910 千円			予 算 書	39 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	本市の子ども・子育て支援事業計画である「第2期夢・未来・希望輝く「舞鶴っ子」育成プラン（令和2年度～令和6年度）」が、改訂年度を迎えることから、子どもや子育て家庭を取り巻く環境の変化等を踏まえた分析を行うとともに、国や京都府が進める子ども・子育てに関する各種施策の取組を踏まえた、次期計画を策定する。
	<p>現行の本市の子ども・子育て支援施策の取組等の検証、令和5年度に実施した市民アンケート調査の結果分析等により、将来の子どもの健やかで豊かな成長と子ども・子育て環境の整備等の指針となる計画とする。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会変化等を踏まえた本市の子ども・子育て支援に関する課題やニーズの分析 ・専門家等から幅広い意見を聴くため、子ども・若者支援会議等を開催（3回程度） ・パブリックコメントの実施

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	400	きょうと地域連携交付金 (1/2)	16
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	510		

担当課	子ども支援 幼稚園・保育所 課	課長名	波多野 直樹 森 輝明	内線 番号	2150 2471
-----	--------------------	-----	----------------	----------	--------------

事業名	放課後児童健全育成事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	156,083 千円			予 算 書	39 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>平日の放課後や土曜日、学校の長期休業期間等に学校施設等を利用して児童を安全に預かるとともに、子どもの健やかな成長と保護者の仕事と家庭の両立支援に取り組む。</p> <p>また、放課後児童クラブを今後も持続可能で安定的に運営していくために策定した「放課後子どもスマイルプラン」に基づき、放課後児童クラブの運営の最適化に取り組む。</p>
	<p>1 事業委託先・実施場所 [通年開設クラブ 計29クラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小学校区の地域子育て支援協議会 (全18小学校区26クラブ、各小学校の余裕教室等で実施) 社会福祉法人舞鶴双葉寮 (児童センターふたば、桃山町) 社会福祉法人瑞光福社会 (めだかクラブ、公文名) 社会福祉法人大樹会 (南舞鶴放課後児童クラブ、行永) <p>2 開設日</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日 (月～金) : 放課後～午後6時30分 土曜日、長期休業日 : 午前8時～午後6時30分 <p>3 利用者負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 年額 72,000円 (2子目以降は半額) <p>4 放課後児童支援員の処遇改善</p> <p>持続的に児童クラブを運営していくために必要となる支援員の確保及び質の確保のため、経験・資格等に応じた報酬体系の実施 (主任支援員、副主任支援員の配置、通勤手当や役職手当加算等の支給)</p> <p>5 クラブ運営の質の向上に資する取組</p> <p>保護者との情報共有、配慮を要する児童への具体的な関わり方など、運営上、直面している課題に関する研修を実施</p> <p>6 夏休み児童クラブの設置 (東地域: 1ヶ所、西地域: 1ヶ所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者負担金 11,000円 (2子目以降は半額)

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称 (補助率等)	予算書
	国支出金	54,504	子ども・子育て支援交付金 (1/3)	12
	府支出金	54,504	子ども・子育て支援交付金 (1/3)	15
	地方債	-		
	その他	476	夏休み児童クラブ利用者負担金 ほか	8・22
	一般財源	46,599		

担当課	子ども支援 課	課長名	波多野 直樹	内線番号	2150
-----	---------	-----	--------	------	------

事業名	学習支援事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	2,744 千円			予 算 書	39 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	次代を担う子ども達の将来がその生まれ育った環境によって左右されることなく、進学や就職など将来に夢や希望を持って成長していけるよう、基礎学力と学習習慣の定着に向けた学習支援を実施する。
事業の内容	<p>市内の小学校4～6年生を対象に、週1～2回、放課後に支援員による学習支援を行う。</p> <p>1. 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学習の定着（主に算数・国語復習） ・宿題に取り組む習慣づけの支援 ・中学校進学に向けた学習支援 <p>2. 事業実施予定校</p> <p>新舞鶴小学校、倉梯小学校、志楽小学校、明倫小学校、余内小学校</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,371	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(1/2)	12
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	600	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	773		

担当課	子ども支援課	課長名	波多野 直樹	内線番号	2150
-----	--------	-----	--------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 59

事業名	子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	7,900 千円			予 算 書	40 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>世代間で支え合うライフスタイルを選択した子育て世帯に対し、三世代同居・近居に対応した住環境を整えるための経済的支援を行うことにより、育児に係る負担軽減を図るとともに、市外からのUターン等を促す。</p>				
事業の内容	<p>【対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多子世帯（子どもが3人以上いる世帯） ・三世代近居を新たに始める世帯 ・三世代同居を新たに始める世帯 <p>【補助内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅リフォーム工事 事業費×1/2 府外からの転居者（限度額200万円） 府内の転居者（限度額100万円） ・住宅購入仲介手数料 事業費×1/2（限度額40万円） ・住宅賃借仲介手数料 事業費×1/2（限度額5万円） 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書	
	国支出金	-			
	府支出金	3,950	京都府結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金（1/2）	16	
	地方債	-			
	その他	1,900	ふるさと応援寄附金	20	
	一般財源	2,050			
担当課	子ども支援課	課長名	波多野 直樹	内線番号	2150

事業名	こども家庭センター新設によるこども・子育て世帯に対する包括的な支援体制の強化				
費目	款		項		目
事業費	— 千円			予算書	— 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	母子保健と児童福祉を包括した、妊娠から出産、子育て期までの切れ目ない支援体制を整え、個々の家庭の意見や希望に応じた適切なサービスを届けるため、新たに中総合会館内に「こども家庭センター」を設置する。				
	事業内容	○こども家庭センターの役割と機能			
事業内容		<p>【役割】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援 2. 全てのこどもと家庭に対して、虐待への予防的対応から個々の家庭に応じた継続的な相談・支援まで切れ目なく対応 3. 地域の資源と必要なサービスを有機的につなぐソーシャルワークの中心的な役割 <p>【母子保健機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期から出産・子育て期を通じた伴走型相談支援事業 (No. 64) 2. 健康診査や予防接種などの母子保健事業 (No. 62、No. 63、No. 65) <p>【児童福祉機能】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相談支援事業 <ol style="list-style-type: none"> ①子育てなどの不安や課題に対する総合相談やケース対応 ②児童虐待等への対応、虐待の早期発見・介入支援 ③医療的ケア児を含む障害児の相談・支援 (No. 47) 2. 子育て支援事業 <ol style="list-style-type: none"> ①「地域の子育て支援拠点」「ファミリー・サポート・センター」等での子育て支援 ②子育て支援サービス「まいココ」を活用した情報提供及び相談支援 			
	財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金		-			
府支出金		-			
地方債		-			
その他		-			
一般財源	-				
担当課	子ども支援健康づくり	課	課長名	波多野 直樹 飯田 徹	内線 2150 番号 6200

令和6年度 主な事務事業調

No. 61

事業名	生活保護扶助費					
費目	款	民生費	項	生活保護費	目	扶助費
事業費	1,442,379 千円			予算書	41・42 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	生活困窮者に対し必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を支援する。					
事業の内容	施設事務費	26,156	千円			
	生活扶助費	348,723	千円			
	住宅扶助費	196,671	千円			
	教育扶助費	2,262	千円			
	介護扶助費	50,339	千円			
	医療扶助費	811,104	千円			
	出産扶助費	429	千円			
	生業扶助費	2,854	千円			
	葬祭扶助費	2,041	千円			
	就労自立給付金	600	千円			
	進学準備給付金	1,200	千円			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	1,072,719	生活保護費負担金(3/4)	11		
	府支出金	27,754	生活保護費負担金(1/4)	15		
	地方債	-				
	その他	6,447	雑入(生活保護法第63条による返還金)	22		
	一般財源	335,459				
担当課	福祉援護	課	課長名	松本 真俊	内線番号	2101

令和6年度 主な事務事業調

No. 62

事業名	予防接種事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	223,495 千円			予算書	42 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>予防接種法に基づき、感染症の発生及びまん延を予防するため、乳幼児・児童等に対する予防接種を全額公費負担により実施し、公衆衛生の向上に努める。また、高齢者に対しては、個人の感染予防のため、インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種を一部自己負担により実施する。</p>		
事業の内容	<p>いずれも、協力医療機関へ委託して実施</p> <p>【乳幼児・児童・生徒】 158,058千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ロタウイルス(生後2か月～14週6日まで) 2回又は3回 ○ B型肝炎(2か月～1歳未満) 3回 ○ 小児用肺炎球菌(2か月～5歳未満) 4回 ○ 五種混合1期(2か月～7歳6か月未満) 4回 ※令和6年4月から定期接種化(四種混合+ヒブと同等の効果のあるワクチン) ○ ヒブ(2か月～5歳未満) 4回 ○ 四種混合1期(2か月～7歳6か月未満) 4回 ○ BCG(5か月～1歳未満) 1回 ○ 水痘(1歳～3歳未満) 2回 ○ 麻疹風しん1期(1歳～2歳未満) 1回・2期(小学校入学前の1年間) 1回 ○ 日本脳炎1期(3歳～7歳6か月未満) 3回・2期(10歳～13歳未満) 1回 ※積極的な接種勧奨が差し控えられていた期間に接種できなかった方に対する特例措置あり。 ○ 二種混合(満12歳) 1回 ○ 子宮頸がん(中学1年生～高校1年生) 3回 ※令和4年度より積極的勧奨を再開。積極的勧奨が差し控えられていた時期に接種できなかった者もキャッチアップ接種として令和7年3月まで接種可能。 <p style="text-align: right;">他</p> <p>【高齢者】 65,437千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ インフルエンザ(対象者: 65歳以上) 自己負担金 1,500円(非課税世帯等は自己負担金免除あり) ○ 肺炎球菌(対象者: 65歳) 自己負担金 4,000円(非課税世帯等は自己負担金免除あり) ※過去に、23価肺炎球菌ワクチンを接種した者は対象から除外 		
内容			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	223,495		

担当課	健康づくり	課	課長名	飯田 徹	内線番号	6200
-----	-------	---	-----	------	------	------

事業名	乳幼児健康診査事業費のうち、1か月児健康診査事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	2,400 千円			予算書	43 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>乳幼児の疾病・障害の早期発見及び健康の保持・増進を目的として、現在、3か月児、10か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に健康診査を実施しているが、新たに1か月児に対する健康診査の費用を助成することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、健診結果を把握することで出産後から切れ目のない支援につなげる。</p>
事業の内容	<p><対象者> 令和6年4月1日以降に生まれた生後1か月頃の乳児約440人（見込み）</p> <p><内容> 1か月児健康診査は、従来から出産した医療機関において実施されており、自己負担となっているが、その費用について助成する。 ・実施方法:個別健診（出産した医療機関で実施） ・健診内容:身体発育状況、栄養状態、身体異常の早期発見、こどもの健康状態や育児の相談等 ・助成方法:妊娠届出時に交付した受診券を、1か月児健康診査の際に医療機関へ提出</p> <p><その他> ・舞鶴市と府医師会との委託契約により実施 ・委託単価は、京都府が府医師会と調整し、府内統一単価を設定 設定見込単価：5,400円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	880	母子保健衛生費国庫補助金(1/2)	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,520		

担当課	健康づくり	課	課長名	飯田 徹	内線番号	6200
-----	-------	---	-----	------	------	------

事業名	出産・子育て応援事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	52,051 千円			予算書	43 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>核家族化が進み、地域とのつながりも希薄となる中で、安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育て期を通じて全ての妊婦・子育て家庭に寄り添い身近な相談に応じながら、多様なニーズに即した支援につなぐ「伴走型相談支援」と「経済的支援」を一体的に実施する。</p>
事業の内容	<p>【伴走型相談支援】 ①妊娠届出時、②妊娠8か月前後、③出生届出から生後4か月までの間のそれぞれにおいて、保健師や助産師等による面談や地域の子育てひろばでの交流などの機会を拡充し、一人ひとりのニーズに応じた支援につなげる。</p> <p>【経済的支援】 ● 出産応援給付金（5万円） 妊娠届出時の面談後に支給 ● 子育て応援給付金（5万円） 出生届出後の面談後に支給</p> <p>支給対象者数（見込み） ・ 令和6年4月1日から令和7年3月末までの妊娠届提出者：500名 ・ 同期間の出生届提出者：450名</p>

区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳			
国支出金	33,941	出産・子育て応援交付金(2/3)	13
府支出金	9,053	出産・子育て応援交付金(1/6、1/4)	16
地方債	-		
その他	-		
一般財源	9,057		

担当課	健康づくり 課	課長名	飯田 徹	内線番号	6200
-----	---------	-----	------	------	------

事業名	新生児聴覚検査事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	1,760 千円			予算書	43 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>先天性の聴覚障害を早期に発見し、適切な治療・療育に確実につなげることで、子どもの音声言語発達等への影響を最小限に抑えるため、産科医療機関において実施される新生児聴覚検査の費用の一部を公費負担し、周産期の経済的負担の軽減を図るとともに、すべての新生児が検査を受けられる環境を整える。</p>
	<p>【実施内容】 妊婦に新生児聴覚検査受診券を交付し、概ね生後3日以内に実施される新生児聴覚検査費用の一部を公費負担する。</p> <p>○対象：新生児 約440人（見込み）</p> <p>○公費負担上限額：自動ABR（自動聴性脳幹反応） 4,020円 OAE（耳音響放射） 1,500円 京都府が府医師会と調整した標準委託単価を設定</p> <p>○フォロー体制： 市で検査結果を把握し、要精密検査児を継続的にフォローする等、早期に安心して適切な療育が受けられるよう相談支援を行うとともに、未受検児への受診勧奨を行う。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,760		

担当課	健康づくり	課	課長名	飯田 徹	内線番号	6200
-----	-------	---	-----	------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 66

事業名	がん検診事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	85,639 千円			予算書	43 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>がんが国民の生命及び健康にとって重大な問題となっている現状に鑑み、各種がん検診を実施することで、がんの早期発見の推進を図り、がんによる死亡率を減少させる。</p>																																													
事業の内容	<p>【実施するがん検診の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検診項目</th> <th rowspan="2">対象年齢</th> <th rowspan="2">予定人数</th> <th rowspan="2">検診内容</th> <th colspan="2">受診場所</th> </tr> <tr> <th>医療機関</th> <th>保健センター等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">胃がん検診</td> <td rowspan="2">50歳以上</td> <td rowspan="2">1,000人</td> <td>問診・胃X線検査</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>問診・胃内視鏡検査</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>40歳以上</td> <td>3,600人</td> <td>問診・胸部X線検査</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>40歳以上</td> <td>6,250人</td> <td>問診・便潜血検査</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>40歳以上女性</td> <td>2,800人</td> <td>問診・マンモグラフィ検査</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>20歳以上女性</td> <td>2,800人</td> <td>問診・細胞診</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					検診項目	対象年齢	予定人数	検診内容	受診場所		医療機関	保健センター等	胃がん検診	50歳以上	1,000人	問診・胃X線検査		○	問診・胃内視鏡検査	○		肺がん検診	40歳以上	3,600人	問診・胸部X線検査		○	大腸がん検診	40歳以上	6,250人	問診・便潜血検査	○	○	乳がん検診	40歳以上女性	2,800人	問診・マンモグラフィ検査	○		子宮頸がん検診	20歳以上女性	2,800人	問診・細胞診	○	
	検診項目	対象年齢	予定人数	検診内容	受診場所																																									
医療機関					保健センター等																																									
胃がん検診	50歳以上	1,000人	問診・胃X線検査		○																																									
			問診・胃内視鏡検査	○																																										
肺がん検診	40歳以上	3,600人	問診・胸部X線検査		○																																									
大腸がん検診	40歳以上	6,250人	問診・便潜血検査	○	○																																									
乳がん検診	40歳以上女性	2,800人	問診・マンモグラフィ検査	○																																										
子宮頸がん検診	20歳以上女性	2,800人	問診・細胞診	○																																										
内容	<p>※胃がん検診の受診を2年に1回とし、従来の「胃部エックス線検査」に加えて新たに「胃内視鏡検査」を導入し、選択制での実施とする。</p> <p>【受診率アップのための個別通知】</p> <p>がん検診受診率アップを図るため、封書、はがき等により対象となる市民に個別通知を送付する。</p>																																													

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	2,565	感染症予防事業費等国庫補助金(1/2)	12
	府支出金	88	市町村休日総合がん検診支援事業費補助金(10/10)	16
	地方債	-		
	その他	2,180	雑入(保健事業検診個人負担金)	22
	一般財源	80,806		

担当課	健康づくり	課	課長名	飯田 徹	内線番号	6200
-----	-------	---	-----	------	------	------

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	13,871 千円			予算書	43 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	保健師や歯科衛生士、管理栄養士などが、地域の高齢者が集う場において、健康講座や健康相談・訪問指導をきめ細やかに行うことで、生活習慣病などの慢性疾患の悪化や加齢による心身の衰弱（フレイル）を予防し、高齢期になっても、住み慣れた地域で生き生きとした暮らしが続けられるよう取組を推進する。					
	事業の内容	【実施方法】 京都府後期高齢者医療広域連合委託事業 【実施内容】 1. 高齢者が集う場における健康講座・健康相談 対象：各地域で実施している「サロンdeすとりえち」実施団体等約100か所 内容：フレイル予防に係る普及啓発 簡易質問票や身体・体力測定によるフレイルチェック 口腔機能チェック 低栄養リスクチェック 個別健康相談 2. 高齢者に対する個別的支援 通いの場不参加者や健診未受診者など健康状態不明者への訪問指導				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	13,871	雑入(後期高齢者医療保健事業補助金(広域連合))	22
	一般財源	-		

担当課	健康づくり 高齢者支援	課	課長名	飯田 徹 竹山 真	内線 番号	6200 2120
-----	----------------	---	-----	--------------	----------	--------------

令和6年度 主な事務事業調

No. 68

事業名	施設整備事業費（斎場）【債務負担行為】					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	斎場費
事業費	— 千円			予 算 書	80 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>平成元年に建設し、現在35年が経過した斎場は、火葬炉の老朽化が進んでいることから、今後も安定して利用し続けられるよう、火葬炉の更新工事を行う。</p> <p>なお、施設の使用を継続しながら施工するため、工期は3年間とし、令和8年度の完成を目指す。</p>
事業の内容	<p>現在の火葬炉5基のうち、4基を新たな炉に更新し、残りの1基と胞衣炉1基は、現在の使用頻度と将来の活用見込みの想定に基づき、除却する工事を行う。</p> <p>【債務負担行為】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○期間 令和6年度～令和8年度（3年間） ○限度額 355,000千円 ○スケジュール <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 火葬炉製作（工場での製作まで） 令和7年度 1期工事（2基更新） 令和8年度 2期工事（2基更新）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	市民課	課長名	岩田 宏幸	内線番号	1120
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	リサイクルプラザ施設長寿命化事業費					
費目	款	衛生費	項	清掃費	目	リサイクル事務所管理費
事業費	9,000 千円			予算書	45 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>平成10年に供用を開始したリサイクルプラザは、稼働から25年が経過し、破砕設備等の主要設備の老朽化が進んでいる。今後も安定した廃棄物の適正処理を継続するため、長寿命化を図る。</p>
事業の内容	<p>令和6年度はリサイクルプラザの長寿命化に向け、施設の保全・整備に係る長寿命化計画を策定する。</p> <p>○今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 : 長寿命化計画策定 令和7年度 : 長寿命化工事実施設計 令和8～12年度 : 長寿命化工事

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	16
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	4,500		

担当課	環境施設課	課長名	上枝 靖之 表 良一 (リサイクル事務所長)	内線	1290
				外線	64-
				番号	7222

事業名	救急医療体制の確保に向けた取組					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	88,760 千円			予 算 書	46・47 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>休日の救急輪番制の実施や市内公的3病院（舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院）の救急医療体制への支援、休日急病診療所の運営を行うことにより、市民が安全・安心に暮らすことができる救急医療体制の確保を図る。</p>
事業の内容	<p>1. 休日救急輪番制事業費 27,870千円 市内公的3病院の協力を得て、休日救急輪番制を委託実施。 ・診療体制：公的3病院による輪番体制 ・診療日：休日（日曜日・祝日・年末年始） ・診療科目：内科、外科の一次・二次救急医療、小児科の一次救急医療</p> <p>2. 公的病院救急医療体制確保事業費補助金 45,000千円 平日夜間、土曜日、輪番日以外の休日（平常診察時間外）における救急医療体制の確保に対して支援。 ・補助対象者：公的3病院 ・補助対象経費：平常診察時間外における救急患者への対応に要する経費 ・補助率：1/3（上限額1,500万円/病院）</p> <p>3. 舞鶴市休日急病診療所管理運営経費 15,890千円 舞鶴医師会等の協力により運営している「舞鶴市休日急病診療所」において、休日の一次救急（内科系の病状で比較的軽い方への応急的対応）を担うことにより、公的病院の救急医療に従事する勤務医の負担を軽減。また、二次救急（入院や手術が必要な重症者に対応）が必要と判断される場合は、輪番病院と連携して対応。 ・診療日：毎週日曜日 ・診療時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時 ・診療科目：内科 ・診療内容：病状の比較的軽い方に対する応急的診療 ・診療体制：医師（舞鶴医師会及び市立舞鶴市民病院）、薬剤師、看護師</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	21,400	きょうと地域連携交付金(1/2)	17
	地方債	-		
	その他	10,004	休日急病診療所収入、診断書交付手数料	9・10
	一般財源	57,356		

担当課	地域医療	課	課長名	高嶋 宏行	内線番号	2468
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 71

事業名	地域医療の人材確保に向けた取組				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 医療対策総務費
事業費	35,200 千円			予 算 書	46・47 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>医学生等に対する奨学金の貸付や研修費助成等により、医学生、研修医や薬学部生、看護学生に本市の良さや魅力を知ってもらい、将来における本市での勤務及び定着化を図る。</p> <p>また、本市をはじめとする府北部地域に共通する医療課題について、京都府立医科大学と共同で研究に取り組むほか、舞鶴地域麻酔診療支援センターの円滑な運営を確保し、地域医療の充実につなげる。</p>				
	事業内容	<p>1. 舞鶴市地域医療確保奨学金等貸付金 9,000千円 医学生、研修医を対象に月額15万円を貸与（5名） ※市内医療機関での勤務など一定要件による返還免除の規定あり</p> <p>2. 医師・医学生等研修支援事業費 200千円 京都府立医科大学等が実施する研修（地域医療教育推進事業等）において、研修先医療機関と連携し、研修の充実が図られるよう医学生等への各種支援を行い、将来の医師確保につなげる。</p> <p>3. 医療従事者確保対策事業費 1,200千円【拡大】 本市の病院看護師や薬剤師を確保するため、市内公的病院での研修や舞鶴薬剤師会が企画実施する研修プログラムに要する経費の一部を支援し、市内での勤務につなげ地域医療の充実を図る。（看護学生への研修支援事業を追加）</p> <p>4. 「地域医療の充実」共同研究事業費 19,500千円 全国的に不足する産婦人科医を地域で確保し、周産期医療の充実・強化を図ることを目的に京都府立医科大学との共同研究を実施し、市民が住み慣れた地域で出産、子育てができる居住環境につなげていく。</p> <p>5. 舞鶴地域麻酔診療支援センター運営経費 5,300千円 令和4年度に設置した舞鶴地域麻酔診療支援センターの運営に係る経費を措置することにより、円滑な麻酔診療の実施につなげる。</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	
	国支出金	-			
	府支出金	12,900	きょうと地域連携交付金（1/2）		17
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	22,300			
担当課	地域医療	課	課長名	高嶋 宏行	内線番号 2468

令和6年度 主な事務事業調

No. 72

事業名	医療機能最適化検討事業費				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 医療対策総務費
事業費	11,200 千円			予算書	47 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>令和5年度に開催した「持続可能な地域医療を考える会」での議論や、市民をはじめ市内公的病院長や医師会長、大学教授等にも参加いただいた「地域医療シンポジウム」を踏まえ、地域の実情に応じた最適な医療提供体制のあり方について、専門的分析を交えた検討を行う。</p>
事業の内容	<p>将来を見据え、地域における医療機能のあるべき姿を描くとともに、持続可能な医療提供体制の確立に向け、その方策を医療関係者等で構成する「(仮称)舞鶴医療機能最適化検討会議」において多角的に検討する。</p> <p>○(仮称)舞鶴医療機能最適化検討会議 構成団体 市、医師会、公的病院ほか 開催頻度 年間5回程度</p> <p>(検討内容) ①公的病院に関する現況分析 ②将来、本市に求められる医療機能と規模 ③②の実現に向けた機能再編や解決策の方向性</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	5,600	きょうと地域連携交付金(1/2)	17
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,600		

担当課	地域医療 課	課長名	高嶋 宏行	内線番号	2468
-----	--------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 73

事業名	勤労者福祉向上事業費					
費目	款	労働費	項	労働費	目	労働諸費
事業費	400 千円			予 算 書	47 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>働き方が多様化する中、勤労者等の学習、スキルアップなどの機会創出やキャリア構築、勤労者同士の繋がりづくりを支援することにより、市民がいきいきと学び、働き続けることのできる社会の実現を目指す。</p>
事業の内容	<p>舞鶴市勤労者福祉センターを拠点にして、京都府、市内労働団体、各種支援機関等と連携し、勤労者等のキャリア構築を支援する相談会、勤労者同士の繋がりづくりを促進する研修事業、勤労者等の自学支援の環境づくりなどを実施する。</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	400		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

事業名	雇用対策協議会事業費補助金					
費目	款	労働費	項	労働費	目	労働諸費
事業費	6,654 千円			予 算 書	47 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>地元の高校生や都市部で生活する舞鶴出身者等の市内事業所への就職を促進するため、市が事務局を担う「舞鶴市雇用対策協議会」を中心に、昨年、雇用対策協定を締結した京都労働局や、連携協定を締結した株式会社リクルートなどとの連携も生かした各種事業を展開し、地域が求める人材確保を実現することにより、まちの安定的発展を目指す。</p>				
事業の内容	<p>舞鶴市雇用対策協議会(※)を中心に以下の事業等を実施する。 ※舞鶴公共職業安定所、京都府、舞鶴商工会議所、市内教育機関等が参画する協議会</p> <p>【舞鶴市雇用対策協議会実施事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面式、オンラインでの合同就職説明会 ・多様な人材の活躍を推進する取組（セミナー、就職説明会） ・高校生を対象とした地元企業研究会「高校生JOB-EXPO」 ・市内事業所での就職に関する情報を発信するホームページ「JOB-NAVIまいづる」、SNS等の運営 ・市内事業所の人材獲得力向上を支援するセミナー、コンサルティング など 				
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	3,327	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13	
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	3,327			
担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1212

事業名	農地確認効率化経費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業総務費
事業費	2,000 千円			予 算 書	48 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>中山間直接支払交付金や多面的機能支払交付金等の実施状況確認に必要な農地確認において、ICT技術を活用したシステムを導入することにより、精度の向上と省力化を図る。</p>
事業の内容	<p>農地確認システムの導入（2,000千円）</p> <p>○導入による効果 衛星から撮影された写真などのデータを基に、システム上で農地の作付けや保全管理の状況を確認。 これまで、すべての対象農地を地域立会の上、職員で確認していたが、システム導入により、現地で確認する必要のある農地を絞り込むことにより、精度の向上と業務の省力化が可能となるもの。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,000	きょうと地域連携交付金(1/2)	17
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,000		

担当課	農林水産振興 課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240
-----	----------	-----	-------	------	------

事業名	スマート農業支援事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	8,450 千円			予算書	48 頁	
				事業区分	新規 拡大 ・継続	

事業の目的	過疎化、高齢化等により農業の担い手が不足する中、限られた労働力で効率的に経営を維持・拡大するため、ICT（情報通信技術）を活用した機械・設備の導入や株式会社KDDIとの連携によるスマート農業を支援することにより、経営改善や作業効率、生産性の向上を図る。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ■スマート技術を備えた農業機械の導入支援 6,207千円 <ul style="list-style-type: none"> ①コンバイン（食味・収量センサー付き） <ul style="list-style-type: none"> 事業費：14,091千円 補助率：3/10 補助額：4,227千円 ②トラクター（自動操舵機能付き） <ul style="list-style-type: none"> 事業費：6,600千円 補助率：3/10 補助額：1,980千円 ■茶園のモニタリングシステム運用経費 600千円 <ul style="list-style-type: none"> 栽培環境データ分析や病害アラート機能 等 ■万願寺甘とうモニタリングシステム運用経費等 1,643千円 <ul style="list-style-type: none"> 栽培環境データ分析や栽培技術情報の共有、猛暑による尻腐れ発生率の調査 等 			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	672	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金	6,207	スマート農林水産業実装チャレンジ事業費補助金(3/10)	17
	地方債	-		
	その他	1,500	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	71		

担当課	農林水産振興課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240
-----	---------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 77

事業名	万願寺甘とう振興事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	4,528 千円			予算書	48 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	京都府で初めて地理的表示(GI)保護制度に登録された『万願寺甘とう』のさらなる安定供給とブランド力向上を図り、本市農業者の農業経営の基盤となるよう生産と消費拡大の両面から支援を行う。				
	事業の内容	<p>1. 「万願寺甘とう」の生産拡大を図るための施設等の整備</p> <p>(1) パイプハウス整備支援 3,000千円 予定施設：1棟 補助率：5/10</p> <p>(2) 生産・流通改善条件整備支援 832千円 予定設備：遮光ネット、遮光ネット内張、 PO（赤外線反射フィルム）他 補助率：4.5/10</p> <p>2. プロモーション活動経費 696千円 ・京野菜「万願寺甘とう」広報メディアの活用等</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-			
	府支出金	3,832	京野菜等生産加速化事業費補助金(4.5/10、5/10)	17	
	地方債	-			
	その他	600	ふるさと応援寄附金	20	
	一般財源	96			
担当課	農林水産振興課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240

事業名	茶業振興対策事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費
事業費	2,888 千円			予算書	48 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	全国茶品評会「かぶせ茶の部」において、令和5年度産地賞を受賞するなど、品質の高いお茶の産地である「舞鶴産のお茶」のブランド力の向上と、茶樹の新植・改植等による生産拡大を目指す。					
	事業の内容	1. 舞鶴産のお茶PR事業 158千円 2. 茶業振興事業 2,730千円 事業主体：舞鶴茶生産組合 (1) 茶樹の新植・改植に要する苗代等の支援（実施面積15a） 1,500千円 （補助率：7.5/10） (2) 新植・改植を行った茶園を対象とした肥料代等の支援 （実施面積 定植2年目30a、定植1年目22a） 780千円 （10a当たり150千円） (3) 全国茶品評会出品奨励金 450千円 出品茶1点につき30千円を交付				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		
	国支出金	-				
	府支出金	800	宇治種改植加速化支援事業費補助金（4/10）			17
	地方債	-				
	その他	2,000	ふるさと応援寄附金			20
一般財源		88				
担当課	農林水産振興 課		課長名	中井 哲也		内線番号 1240

事業名	基盤整備促進事業費					
費目	款	農林水産業費	項	農業費	目	農地費
事業費	3,260 千円			予 算 書	49 頁	
				事業区分	新規・拡大 (継続)	

事業の目的	<p>ほ場整備（区画整理）を実施することにより、営農労力の省力化、効率化、生産性の向上による農業経営基盤の確立を図るとともに、当該事業の実施により認定農業者等への農地集積を図る。</p>
事業の内容	<p>○農地中間管理機構関連農地整備事業 ※強力に農地集積と農業競争力の強化を図るため、全ての農地を農地中間管理機構に預け、80%以上を認定農業者・法人に貸し付けると共に、販売額を20%以上向上するなどの条件のもと、国が地元負担分の補助率を引き上げ実施する事業。</p> <p>・朝来中地区 換地処分等業務 3,260千円（府営事業を受託）</p> <p><参考> ●府営土地改良事業費負担金（24,625千円）の府実施事業に係る市負担分は別途計上 朝来中地区 （13,000千円） 泉源寺地区 （2,000千円） 舞鶴女布地区（9,625千円）</p>

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	3,260	府営土地改良事業委託金	19
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	-		

担当課	農林水産振興 課	課長名	中井 哲也	内線 番号	1240
-----	----------	-----	-------	----------	------

事業名	有害鳥獣被害防止対策事業費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	80,916 千円			予算書	50 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	有害鳥獣の捕獲に対する支援、担い手の育成、処理施設の円滑な運用等による捕獲活動と、行政や地域等が一体となって取り組む侵入防止柵の設置等によって防除を推進し、農作物被害の低減を図る。			
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 猟友会及び捕獲従事者育成支援事業 (2,633千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ 猟友会の有害鳥獣捕獲活動に係るハンター保険・自動車保険の支援 ・ 狩猟者の担い手確保対策経費 (狩猟登録及び猟銃等購入経費の支援) 2. 捕獲事業・捕獲活動事業 (72,740千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ 猟友会の有害鳥獣捕獲に対する出動・捕獲報償費 66,549千円 ※森林保護のため、狩猟期のシカ捕獲報償費に森林環境譲与税を4,000千円充当 (No. 81参照) ・ 有害鳥獣駆除期間中の連絡調整や捕獲確認の立会等の経費 6,191千円 3. サル被害防止対策 (945千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ 餌付けによる捕獲、追払い用火火支給による地域支援経費 4. 有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 (145千円) 5. 中丹地域有害鳥獣処理施設一時保管庫管理経費 (1,331千円) 6. 鳥獣撃退用具購入に対する支援 (60千円) 7. 地域が行う捕獲・防除活動への支援 (1,242千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣侵入経路等調査支援経費 642千円 ・ 捕獲通報装置購入事業費補助金 300千円 ・ 集落内放置果樹対策事業費 300千円 8. ニホンジカ有効活用事業費 (新規) (1,820千円) <ul style="list-style-type: none"> ・ 捕獲個体の有効活用に向けた実証実験に係る経費 			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	28,368	野生鳥獣被害総合対策事業費補助金(1/2、定額) きょうと地域連携交付金(1/2)	17
	地方債	-		
	その他	900	ふるさと応援寄附金	20
一般財源		51,648		

担当課	農林水産振興課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240
-----	---------	-----	-------	------	------

事業名	森林経営管理推進経費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	25,000 千円			予算書	50 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	森林経営管理制度において、林業施業地集積に取り組む地域に対し、集約化の前提となる意向調査や境界明確化を実施し林業施業の促進を図ることで、地球温暖化対策や水源涵養などの森林の多面的機能の維持・森林資源の活用の推進を図る。			
	事業の内容	①今後の林業施業地集積の基礎資料とするため、市内森林での航空レーザ計測の実施。 ②林業施業地集積に対する意向がまとまっている地域において航空レーザ計測の成果を活用し境界明確化作業を実施。 ③境界明確化が終了した森林の所有者に対する意向調査を実施。 ※森林整備や木材利用促進などのために国から譲与される森林環境譲与税（財源区分は一般財源）を財源として実施。（歳入予算は予算書5頁を参照。）		
内容		【参考】 森林環境譲与税 55,100千円 豊かな森を育てる基金（森林環境譲与税分）繰入金 1,879千円 同基金利子 21千円		
	充当先内訳 森林経営管理推進経費 25,000千円 モデル皆伐再生林事業費 15,000千円 (No. 83) 山から地域を元気にする事業費補助金 3,000千円 (No. 84) 新たな林業施業地開拓事業費補助金 10,000千円 (No. 85) 有害鳥獣被害防止対策事業（シカ捕獲報償費）4,000千円 (No. 80の内数)			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	25,000		

担当課	農林水産振興 課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240
-----	----------	-----	-------	------	------

事業名	災害に強い森づくり事業費				
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目 林業振興費
事業費	35,000 千円			予算書	50 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	令和5年8月の台風7号豪雨災害により荒廃した森林において、今後の被害を防止するため治山施設を整備する。			
	<p>○災害に強い森づくり事業費 35,000千円 規模の大きな治山事業について府の委託事業により、治山施設を整備し荒廃した森林の整備を実施する。</p> <p>・施工箇所（1箇所）桑飼上(小原)地区 測量設計 1式 山腹工 1式</p> <p>※全体計画（令和6年度～7年度） 総事業費 45,000千円 令和6年度 測量設計、工事（山腹工）1式 35,000千円 7年度 工事（山腹工、森林整備）1式 10,000千円</p>			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	35,000	災害に強い森づくり事業委託金	19
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	農林水産振興 課	課長名	中井 哲也	内線 番号	1240
-----	----------	-----	-------	----------	------

事業名	モデル皆伐再造林事業費					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	15,000 千円			予算書	50 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	森林資源の循環利用に向け、今後の森林整備に必要とされる技術や知識を蓄積するため、市所有人工林をモデル森林に再造林事業を実施する。 ※森林環境譲与税充当事業				
	事業の内容	1. 実施予定箇所 舞鶴自然文化園内人工林（約5ha） 2. 事業内容 人工林伐採後の効率的な再造林や獣害対策などの低コストな再造林の手法を試験的に実施し、得られた知見を今後の森林施業に活用。 ※想定される内容 〔成長の早い樹種や低密度植栽による再造林 頻度の少ない下草刈りの実施 効果的な獣害対策の試行〕			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	1,900	豊かな森を育てる基金(森林環境譲与税分)繰入金及び基金利子		19・21
一般財源	13,100				
担当課	農林水産振興 課		課長名	中井 哲也	内線番号 1240

事業名	山から地域を元気にする事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	3,000 千円			予 算 書	50 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	里山保全活動に取り組む地域や団体を積極的に支援し、地域課題である放置竹林の減少や里山林の整備促進をはじめ、良好な景観の保全や、獣害・自然災害のリスク低減を図るとともに、新たな活動の裾野を広げることで、地域コミュニティの活性化を図る。 ※森林環境譲与税充当事業				
	事業の内容	1. 補助対象 ①里山整備・保全等の活動に年3回以上取り組む地域や団体 ②上記の活動に係る補助対象経費が100千円を超える場合 2. 補助率：定額（上限500千円） 3. 対象となる経費 機械購入・修繕費、消耗品費、保険料、資機材レンタル費、伐採等に係る委託費、林産物の特産品化に係る研究・開発費、里山整備に資する地域イベント開催費用など			
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	3,000			
担当課	農林水産振興 課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240

事業名	新たな林業施業地開拓事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費
事業費	10,000 千円			予算書	50 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>林業事業体の新たな施業地確保を図るため、事業性のある森林と既設林道までの区間の作業道の新設・改修・倒木竹除去に対する支援を行うことにより、標準伐期齢を超えた森林の間伐等の促進と、森林の多面的機能の確保を図る。</p> <p>※森林環境譲与税充当事業</p>				
	事業の内容	<p>1. 補助対象：市内林業事業体</p> <p>2. 補助要件： ①敷設する作業道の終点に伐採予定地があること ②皆伐を行った場合、その後の経営を確約すること</p> <p>3. 補助率：定額（上限5,000千円）</p> <p>4. 対象作業： 作業道開設・改良・拡幅、人工造林（地拵え～植栽）、下刈り、侵入竹・倒伏木等撤去、鳥獣防護柵設置など</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	10,000			
担当課	農林水産振興課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240

事業名	京都舞鶴「食」の魅力発信事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	1,500 千円			予算書	51 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	本市の重要な地域資源である「舞鶴のさかな」や「京野菜」について首都圏に向けたPRを積極的に展開し、地元製品のブランド価値向上と首都圏へのさらなる販路拡大を図る。
事業の内容	<p>○ブランド価値向上、販路の拡大に向けた取組</p> <p>①首都圏のホテルでの「京都舞鶴フェア2024」の開催にあわせて、オープニングイベントと試食取材会を開催。(1,400千円)</p> <p>②上記①に先立ち、担当料理人を招へいする産地見学会を実施。(100千円)</p> <p>③首都圏での舞鶴製品の取扱店舗の増加のためのマッチング</p> <p>④SNS等を活用した舞鶴製品のプロモーション</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	687	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	800	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	13		

担当課	農林水産振興 課	課長名	中井 哲也	内線 番号	1240
-----	----------	-----	-------	----------	------

事業名	スマート漁業支援事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	740 千円			予算書	52 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>漁業従事者の高齢化、担い手不足という課題解決に向け、株式会社KDDI及び京都府漁業協同組合との連携によるICT（情報通信技術）やIoT等の先進技術の機械、設備システムを取り入れたスマート漁業を研究し、省力化と高品質・高収益な漁業の実現を目指す。</p>
事業の内容	<p>○「丹後とり貝」漁場環境モニタリング 養殖筏に多項目センサーを設置し、生育状況の計測データの蓄積と分析を行うことで、科学的な根拠に基づく養殖へと転換を図り、品質の向上と増産、安定供給へとつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁船運航に係る謝礼（480千円） ・とり貝養殖コンテナ用資材（アンスラサイト）の購入（260千円）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	370	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	300	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	70		

担当課	農林水産振興 課	課長名	中井 哲也	内線 番号	1240
-----	----------	-----	-------	----------	------

事業名	共同利用施設設置事業費補助金					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	水産業振興費
事業費	13,690 千円			予算書	52 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	「危険物の規制に関する規則」の改正等により、野原地区の燃油補給施設が設置後40年を経過し、継続使用が不可能となることから、地区内に燃油補給施設整備に対する支援を行い、漁業者の生産活動維持、漁業経営の安定化を図る。				
	事業の内容	○補助対象者 京都府漁業協同組合			
○補助事業内容 燃油補給施設整備に係る経費に対する補助（野原漁港）					
内容	○補助率 補助対象事業費の64/100				
	うち、国補助金	補助率	補助対象事業費	50/100	
	府補助金	補助率	補助対象事業費	4/100	
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	11,550	沿岸漁業構造改善対策事業費補助金(54/100)		18
	地方債	2,100	辺地債		23
	その他	-			
	一般財源	40			
担当課	農林水産振興課		課長名	中井 哲也	
				内線番号	1240

事業名	漁港施設長寿命化事業費					
費目	款	農林水産業費	項	水産業費	目	漁港管理費
事業費	52,500 千円			予算書	52 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	老朽化によって更新等が必要な市管理漁港施設を対象に、計画的に修繕等を行うことで、施設の長寿命化を図り、今後必要となる更新コストの縮減や平準化を図る。					
	事業の内容	○漁港施設長寿命化事業 漂砂等による砂の堆積により漁船等船舶の停泊や操船に必要な水深が確保されていない漁港施設（泊地）の保全を図る。 ・竜宮浜漁港（三浜地区） 長寿命化工事（防砂突堤整備） ※全体計画（令和4年～8年） 令和4年度 測量設計 令和5～8年度 長寿命化工事（防砂突堤整備、浚渫）				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-				
	府支出金	33,333	水産物供給基盤機能保全事業費補助金(2/3)	18		
	地方債	16,500	水産業債	22		
	その他	2,625	漁港施設長寿命化事業費分担金	7		
	一般財源	42				
担当課	農林水産振興	課	課長名	中井 哲也	内線番号	1240

事業名	2025年大阪・関西万博連携事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	2,200 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>2025年の大阪・関西万博を見据え、本市が有する日本遺産の構成文化財等の地域資源をめぐるツアーを造成し、万博を契機として国内外からの誘客を図り、観光入込客数の増加、観光消費額を増大させ、活力あるまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○日本遺産を活かした旅行商品の造成 大阪を含めたツアー商品造成のため、日本遺産構成文化財をめぐるモニターツアーの実施 [1,200千円] ○観光拠点形成に向けた環境整備や施設整備 多言語サイン作成・設置 [1,000千円] (北吸トンネルほか6か所予定)

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,100	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金			
	地方債			
	その他			
一般財源		1,100		

担当課	観光振興	課	課長名	竹原 良治	内線番号	1261
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	地域資源を活かしたエリアブランディング事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	26,648 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>舞鶴ならではの歴史や文化、自然、食など、地域ごとの魅力的な観光資源を掘り起こし、観光振興による交流人口の拡大を図るとともに、市民が愛着の持てる観光まちづくりを推進する。</p> <p>令和6年度は、それぞれの地域や関係機関等と協力しながら、恵まれたビーチコンテンツをテーマに集客できる「海浜エリア」細川幽斎と田辺城をテーマに賑わい創出が期待できる「城下町エリア」のエリアブランド価値を高める。</p>
事業の内容	<p>○海浜エリア振興事業 【24,148千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海浜エリアプロモーション ・海浜エリアの清掃業務 ・三浜海浜施設改修工事 など <p>○城下町エリアみなとオアシス推進事業 【2,500千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・城下町エリアにおける観光誘客イベントの開催 など

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,200	きょうと地域連携交付金(1/2)	18
	地方債	20,700	辺地債	23
	その他	-		
	一般財源	4,748		

担当課	観光振興	課	課長名	竹原 良治	内線番号	1261
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	みなとオアシス活用事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	2,320 千円			予算書	53	頁
				事業区分	新規・拡大	継続

事業の目的	<p>みなと周辺を核とした賑わいをさらに広げるため、「みなとオアシス」登録エリアにおいて、地域・民間・行政等が一体となり「京都舞鶴ベイサイドフェスタ」の開催など、舞鶴の港ならではの魅力を発信する取組を展開するとともに、エリア内施設等を含めたエリア全体の活性化について調査研究を行い、エリア周辺環境の充実に取り組む。</p> <p>【みなとオアシス】 地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくり促進のため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設（海浜・旅客ターミナル・広場など）として、国土交通省港湾局長が認定する交流拠点</p>				
	<p>事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民で構成する「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら運営協議会」の開催及び同協議会による「みなと」を核としたまちづくりに向けた検討 ・みなとオアシス登録施設を活用した賑わい創出に向けたイベント開催 【2,092千円】 ・「みなとオアシス京都舞鶴うみとびら」を周知するための広報活動 など 【228千円】 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	1,000	きょうと地域連携交付金(1/2)		18
	地方債	-			
	その他	200	雑入(日本海にぎわい・交流海道ネットワーク活動支援費)		22
一般財源		1,120			
担当課			課長名		内線番号
みなと振興・国際交流 課			中山 隆司		1250

令和6年度 主な事務事業調

No. 93

事業名	京都舞鶴港クルーズ推進事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	観光振興費
事業費	9,513 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>京都の海からお客様をお迎えできる「港まちの強み」を生かし、地域特性に応じた多様なクルーズ寄港の促進と、インバウンド観光などによる地域への経済効果の波及、さらには、市民との交流機会の創出など、多様な観点から好循環を生み出していく。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆クルーズ誘致プロモーション事業 [3,963千円] <ul style="list-style-type: none"> ・国内、海外船社への直接アプローチ ・市民との交流の機会の創出 ◆寄港受入対応 [5,050千円] <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内をはじめとした地域経済への波及効果の拡大 ・乗客の満足度向上に向けた取り組み ◆環日本海における他港との連携 [500千円] <ul style="list-style-type: none"> ・環日本海クルーズ推進協議会におけるクルーズ誘致に向けた取組

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	9,513		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	中山 隆司	内線番号	1250
-----	--------------	-----	-------	------	------

事業名	産業振興プラットフォーム推進事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	4,880 千円			予 算 書	53 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	舞鶴商工会議所をはじめ、地域の金融機関や、国・京都府等の支援機関との連携のもと、産業振興プラットフォームを構築し、各支援機関が持つノウハウやネットワーク、支援メニューを効果的に提供しながら伴走支援を行い、市内企業の経営革新や基盤強化を促進し、地域経済の活性化を図る。
事業の内容	<p>商工会議所、金融機関や各支援機関と連携し、市内事業所のニーズや課題に応じた各種支援制度等の情報提供、伴走支援等を実施する。</p> <p><主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> プラットフォームの管理・運営、伴走支援による専門相談等の実施など [3,070千円] WEBツールの構築、顧客管理システム(CRM)による事業所のニーズ・課題に応じた情報発信など [1,810千円]

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金			
	府支出金	2,400	きょうと地域連携交付金(1/2)	18
	地方債			
	その他			
一般財源		2,480		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 95

事業名	ビジネス成長応援プロジェクト事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	10,380 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	市内事業者が原材料・燃料価格の高騰や人材不足等の様々な経営課題に直面する中、舞鶴商工会議所や金融機関など関係機関が一体となって、デジタル化・DX促進による労働生産性の向上をはじめ、専門人材の活用支援や各種セミナー等の開催を通じた競争力、経営力向上を図るとともに、創業支援・フォローアップを行い、創業促進及び経営安定化を図る。			
	舞鶴商工会議所、金融機関、支援機関等と連携し、以下の事業等を実施する。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○中小企業デジタル化推進事業 [4,400千円] DX等に要する専門家派遣、ソフト導入経費補助など ○舞鶴市専門・副業人材活用支援事業 [1,150千円] 専門人材等マッチングサイトの活用支援など ○内発型産業振興事業費補助金 [150千円] 能力開発セミナー等受講料補助 ○市内事業者創業応援事業 [1,500千円] 創業塾、創業サロンの開催など ○市内事業者育成支援事業 [1,680千円] 経営革新・多角化等、競争力向上セミナーの開催など ○まちなかエリア出店推進事業 [1,500千円] 居住誘導区域及び周辺への新規出店補助 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,525	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金	1,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	18
	地方債			
	その他			
一般財源		5,355		
担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	山本 仁士	内線番号 1212

事業名	まいづるグッドカンパニー情報発信事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	2,995 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>地域の若者をはじめとする多くの人に、独自の技術や特長的なサービスを提供する事業所や、従業員のキャリア育成や柔軟な働き方の導入、やりがいづくりに工夫を凝らしている事業所など、魅力的な地元企業の仕事の現場を公開・発信することで、地域への愛着を育むとともに、地域で働くことにつなげることを目指す。</p>
事業の内容	<p>①自社の魅力発見・発信を支援 参加企業によるワークショップ、企業見学メニューの造成等</p> <p>②まいづるグッドカンパニーイベントの実施 普段は見られない仕事の現場を公開</p> <p>③その他 地元高等学校等の総合的な探求の時間などとの連携を図る</p> <p>【参考】令和5年度参加企業：12社</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,497	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,400	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	98		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

事業名	まいづる産品戦略的マーケティング事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	8,051 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	まいづる産品の魅力を向上させ、ふるさと納税のさらなる拡大や本市のまちづくりや魅力に関心を寄せていただける方の増加につなげるため、専門人材等の活用により、まいづる産品のマーケティングやプロモーションを強化し、ブランド化と販路拡大を促進する。					
事業の内容	<p>○専門的な知識やスキルを持つ副業人材によるマーケティングやプロモーションの実施 [2,000千円] ふるさと納税のニーズやトレンドをマーケティングにより把握するとともに、返礼品掲載Webサイト内での回遊性向上の仕組みを構築。</p> <p>○まいづる産品ブランド化支援事業 [1,000千円] まいづる産品の一体的なプロモーションによる、認知度の向上とブランド化。</p> <p>○まいづる産品販路拡大事業 [500千円] 直接販売など、Webサイト以外の提供手法について検討。</p> <p>○まいづる産品プロモーション事業 [4,551千円] 首都圏、京阪神でのまいづる産品の認知度アップ。</p>					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	3,950	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	4,100	ふるさと応援寄附金	20		
	一般財源	1				
担当課	観光振興	課	課長名	竹原 良治	内線番号	1261

事業名	企業誘致実現プロジェクト事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費	31,020 千円			予算書	53 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>地域経済の活性化を図るため、新規の企業誘致に取り組むとともに、市内立地企業の施設・設備等の新增設などを積極的に支援する。</p>
事業の内容	<p>①働く場の創出企業立地促進補助（6,000千円） 働く場の創出補助金 3件</p> <p>②企業立地経営円滑化補助（21,710千円） 大口水道使用企業に対する水道料金の一部補助 4件</p> <p>③サテライトオフィス設置補助（1,000千円） IT関連企業などのサテライトオフィスの設置を支援</p> <p>④企業誘致推進対策事業（2,310千円） 新たな企業誘致のための情報収集、個別企業訪問の推進等</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	31,020		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	山本 仁士	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 99

事業名	国際交流活動推進費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	19,015 千円			予算書	54 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>国際理解の促進や、次世代の国際人材の育成を目指すため、姉妹・友好都市及び友好交流を進める各都市と、みなと・観光・文化・スポーツ・教育・産業など幅広い分野における交流事業に取り組む。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ポーツマス市訪問青少年英語研修事業 ・大連市少年使節団受入事業 ・浦項市への青少年訪問団派遣事業 ・各種代表団受入・派遣・オンライン交流事業 ・ウズベキスタン人国際交流員の配置 ・国際交流活動年次報告書の作成

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	19,015		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	中山 隆司	内線番号	1250
-----	--------------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 100

事業名	ウズベキスタン人材育成支援事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	1,830 千円			予算書	54 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>ウズベキスタン共和国リシタン地方との間で交わした人材育成交流に関する覚書に基づき、今後同国の発展に必要とされる産業技術や介護福祉等の分野において、市内関係機関の協力を得ながらウズベキスタンの人材育成や市内での就労を支援する。</p>
事業の内容	<p>○産業人材育成支援 対象者：近畿職業能力開発大学校京都校入校者 支援内容：来日渡航費及び入学支度金（15万円）を支給 生活費（1.5万円/月）を支給</p> <p>○介護人材育成支援 対象者：特定技能（介護）で来日する市内介護福祉施設就労者 支援内容：来日渡航費及び就職支度金（15万円）を支給</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,800	ふるさと応援寄附金	20
	一般財源	30		

担当課	みなと振興・国際交流 福祉企画	課	課長名	中山 隆司 山本 仁志	内線 番号	1250 2290
-----	--------------------	---	-----	----------------	----------	--------------

令和6年度 主な事務事業調

No. 101

事業名	京都舞鶴港振興事業費					
費目	款	商工費	項	商工費	目	貿易振興費
事業費	79,066 千円			予算書	54 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>国、京都府により整備が進む京都舞鶴港の港湾機能を最大限発揮できるよう、関西経済圏におけるBCP（事業継続計画）やリダンダンシーとしての重要性を積極的にPRし、航路の活性化や集貨対策、東アジア諸国等との経済交流による創貨活動など、総合的な貿易振興策を展開する。</p>		
事業の内容	<p>京都舞鶴港の一層の貿易振興を図るため、航路の活性化や集貨対策等を積極的に推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催や展示会出展等のPR活動 ・コンテナ定期航路利用促進等のポートセールス ・コンテナ貨物等に対するインセンティブ補助 ・貿易情報の収集及び調査 ・東アジア諸国等との友好・経済交流の促進 ・国内フェリー航路の活性化に向けた貨物・旅客の拡大支援 <p style="text-align: right;">} [69,716千円]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新規】航路の拡充およびトライアル利用の促進 [8,000千円] <p><2025年大阪・関西万博関連事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・【新規】大阪・関西万博に向けた韓国船社等モニターツアー [1,350千円] 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	4,000	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	75,066		

担当課	みなと振興・国際交流 課	課長名	中山 隆司	内線番号	1250
-----	--------------	-----	-------	------	------

事業名	地籍調査事業費					
費目	款	土木費	項	土木管理費	目	土木総務費
事業費	21,984千円			予算書	55頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>個々の土地の境界や面積など地籍を明確にすることにより、土地の流動性を高めるほか、災害時の復旧作業に備えるなど、市民の資産を守るとともにその価値を高める。</p>
事業の内容	<p>○通常地籍調査 18,037千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浜Ⅲ地区 0.09km² (新規) 街区境界調査、街区境界測量、街区面積測定、街区境界調査簿作成等 ・伊佐津Ⅱ地区 0.06km² (継続) 一筆地調査、一筆地測量、地籍図原図作成等 <p>○国土調査法19条5項指定による地籍整備 3,947千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北浜地区 0.32ha 用地測量、19条5項指定申請図書作成

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	1,838	地籍整備推進調査費補助金(1/2)	13
	府支出金	13,302	国土調査費補助金(3/4)	18
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	6,844		

担当課	建設総務 都市計画	課	課長名	宮嶋 龍二 上羽 讓司	内線 番号	2330 2320
-----	--------------	---	-----	----------------	----------	--------------

事業名	道路除雪対策事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路維持費
事業費	74,640 千円			予算書	55 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	「舞鶴市道路除雪計画」に基づき、バス路線や幹線道路等の除雪及び凍結防止剤の散布を実施し、冬季における安全で円滑な交通の確保を図る。			
	<p>【対象地域】 市内全域</p> <p>○除雪作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型除雪機によるバス路線を中心とした幹線市道等の除雪業務委託 ・小型除雪機の配備による生活道路の除雪作業支援 <p>○凍結防止剤散布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凍結防止剤散布機による凍結防止業務委託 <p>○除雪機更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型除雪機 1台 (8t車) ・小型除雪機 6台 (トラクター式3台、ロータリー式3台) 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	10,983	社会資本整備総合交付金(2/3) 除雪作業事務委託金	13・14
	府支出金	-		
	地方債	33,300	道路橋りょう債、辺地債	23
	その他	593	雑入(除雪機賃料)	22
	一般財源	29,764		
担当課	土木課	課長名	尾橋 英憲	内線番号 2350

事業名	交通安全推進事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	150,300 千円			予算書	56 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	子供、高齢者などの交通弱者や自転車が、安全で安心して通行できる道路整備を進め、快適で安全・安心なまちづくりを推進する。			
	○歩道整備や交差点改良等、通学路等の交通安全対策を推進 [対象路線]			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・丸山通線（丸山口町） 歩道設置 計画総延長60m うち令和6年度実施分 40m ・宮下谷口線ほか1線（公文名ほか） 歩道設置 計画総延長630m うち令和6年度実施分 用地補償 ・浜白鳥線（森三本木） 歩道設置 計画総延長250m うち令和6年度実施分 100m 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	74,800	社会資本整備総合交付金(5.5/10) 交通安全対策補助金(5.5/10)	13
	府支出金	-		
	地方債	61,200	道路橋りょう債	23
	その他	14,300	都市開発推進基金繰入金	20
	一般財源	-		
担当課		土木課	課長名	尾橋 英憲
			内線番号	2350

事業名	幹線道路整備事業費				
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目 道路新設改良費
事業費	135,550 千円			予算書	56 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	国道や府道を補完する幹線市道の整備を進め、本市の経済の活性化及び交通の円滑化と安全性の向上を図る。			
事業の内容	[対象路線] ・和泉通線（森本町） 拡幅改良 計画総延長350m うち令和6年度実施分160m ・引土境谷線（伊佐津、境谷） 拡幅改良 計画総延長670m うち令和6年度実施分60m			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	66,500	社会資本整備総合交付金(1/2、5.5/10)	13
	府支出金	-		
	地方債	54,400	道路橋りょう債	23
	その他	14,600	都市開発推進基金繰入金	20
	一般財源	50		

担当課	土木課	課長名	尾橋 英憲	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	橋りょう長寿命化事業費					
費目	款	土木費	項	道路橋りょう費	目	橋りょう費
事業費	180,475 千円			予算書	56 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検や修繕工事を実施し、将来にわたるトータルコストの縮減や平準化を図る。</p>
事業の内容	<p>○橋りょう長寿命化修繕計画に基づく点検及び修繕等 (点検) 120橋 (うち業者委託118橋、職員直営2橋) (修繕) 相生橋、クレインブリッジ航路標識他 (更新) 大橋 (高野川河川改修に伴う架替え負担金)</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	83,325	道路メンテナンス事業補助金(5.5/10)	13
	府支出金	-		
	地方債	52,700	道路橋りょう債	23
	その他	22,100	市道管理基金繰入金 都市開発推進基金繰入金	20・21
	一般財源	22,350		

担当課	土木課	課長名	尾橋 英憲	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	＜概要版＞東西市街地の浸水対策事業について		
費目	一般会計（土木費）及び下水道事業会計		
事業費	345,270 千円	予算書	— 頁
		事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>東西市街地の浸水対策事業として、浸水被害の軽減を図る事を目的に総合的な治水対策を実施し、安全・安心なまちづくりを推進する。</p>		
	事業内容	<p>《雨水処理対策：下水道事業会計334,000千円》No. 135</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆西地区浸水対策事業 京都府の高野川整備事業と連携し、内水排除ポンプを整備し浸水被害の軽減を図る。また、西Ⅱ期に係る雨水総合管理計画の策定を行う。 ◆東地区浸水対策事業 東地区の浸水対策を進めていくため、雨水総合管理計画の変更を行う。 <p>《市街地浸水対策：一般会計11,270千円》No. 108</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆逆流防止施設設置工事 高野川や支川から排水路等を通じた市街地内への逆流に対して、排水路の吐出口に逆流防止施設を設置する。 ◆宅地嵩上げ助成制度 東西市街地の対象区域において、住宅等の地盤の嵩上げを行う者に対して、その費用の一部を助成する。 ◆雨水貯留施設（マイクロ呑龍）補助制度 西市街地の対策区域において、個人で設置する雨水貯留施設費用の一部を補助する。 ◆逆流防止施設等保守 西浸水対策事業区域において設置した逆流防止施設及び水位計の保守等を行う。 ◆排水ポンプ車維持管理 排水作業に備えて、市所有の排水ポンプ車の維持管理を行う。 	
担当課	浸水対策 土木課	課長名	岡野 恭憲 尾橋 英憲 内線 2310 番号 2350

事業名	浸水対策事業費					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	11,270 千円			予算書	57 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	東西市街地の浸水対策事業として、浸水被害の軽減を図る事を目的に総合的な治水対策を実施し、安全・安心なまちづくりを推進する。			
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆逆流防止施設設置工事 高野川や支川から排水路等を通じた市街地内への逆流に対して、排水路の吐出口に逆流防止施設を設置する。 ◆宅地嵩上げ助成制度 東西市街地の対象区域において、住宅等の地盤の嵩上げを行う者に対して、その費用の一部を助成する。 ◆雨水貯留施設（マイクロ呑龍）補助制度 西市街地の対象区域において、個人で設置する雨水貯留施設費用の一部を補助する。 ◆逆流防止施設等保守 西浸水対策事業区域において設置した逆流防止施設及び水位計の保守等を行う。 ◆排水ポンプ車維持管理 排水作業に備えて、市所有の排水ポンプ車の維持管理を行う。 		
財源内訳			金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	50	下水道防災事業費補助金(1/3)	13
	府支出金	50	雨水貯留施設設置事業費補助金(1/3)	18
	地方債	5,500	河川債	23
	その他	-		
	一般財源	5,670		
担当課	浸水対策 土木課	課長名	岡野 恭憲 尾橋 英憲	内線 番号 2310 2350

事業名	河川整備事業費					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	101,700 千円			予算書	57 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	浸水被害を引き起こしている箇所への河川整備及び浚渫を行い、安全で災害に強いまちづくりを推進する。		
事業の内容	[対象地域] ・蒲江川（蒲江） 護岸改修 L=約30m ・西ノ谷川（岸谷） 護岸改修 L=約15m ・榎川（余部上） 護床改修 L=約60m ・砂田川（桑飼上） 浚渫 L=約750m 他 （豊かな森を育てる府民税市町村交付金分） ・野村寺地区水路 治山施設下流水路整備		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,050	豊かな森を育てる府民税市町村交付金(定額)	18
	地方債	79,500	河川債	23
	その他	10,650	豊かな森を育てる基金(府民税交付金分) 繰入金及び基金利子 都市開発推進基金繰入金	19・ 20・21
一般財源	10,500			

担当課	土木 農林水産振興	課	課長名	尾橋 英憲 中井 哲也	内線 番号	2350 1240
-----	--------------	---	-----	----------------	----------	--------------

事業名	国・府河川整備促進事業費					
費目	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費	8,930 千円			予算書	57 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>国や府の水防災事業の効果を発揮させるため、水害時の内水をスムーズに排出させるための水路整備を実施し、安全・安心な生活環境づくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>○志高排水路の整備費 輪中堤内の雨水等をスムーズに排出させるための水路整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水路設置、法面保護工 L=19.9m <p>平成28年度から志高排水路（全体延長L=1,135.8m）の整備を行っており、令和6年度で完成予定。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	8,200	河川債	23
	その他	-		
	一般財源	730		

担当課	国・府事業推進 課	課長名	小西 征良	内線 番号	3440
-----	-----------	-----	-------	----------	------

事業名	北吸埋立護岸改修事業費					
費目	款	土木費	項	港湾費	目	港湾対策費
事業費	2,500 千円			予算書	58 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	昭和48年度の北吸地区の敷地造成に伴い、東体育館西側に設置した矢板護岸の適正な維持管理により、護岸の長寿命化を図る。				
	護岸長寿命化のため、平成7年に設置した電気防食装置について現状確認調査を行う。				
事業の内容	○調査内容 陽極消耗調査、電位測定				
	[北吸埋立護岸] 完成 昭和48年度 延長 149.2m 矢板 鋼矢板（腐食防止のため電気防食装置67個設置）				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	2,500			
担当課		みなと振興・国際交流 課	課長名	中山 隆司	内線番号 1250

令和6年度 主な事務事業調

No. 112

事業名	まちづくり推進事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	都市計画総務費
事業費	19,640 千円			予算書	58	頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	効率的で利便性の高い持続可能なまちづくりを進めるため、駅を中心とした区域への都市機能の誘導など立地適正化計画の具現化を図り、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現に向けた取組みを推進する。				
	事業の内容	○都市再生整備計画策定委託 舞鶴西（3期）地区の策定（図書館などの整備計画） ○残置構造物撤去工事 舞鶴警察署建設予定地（旧市民会館跡地） ○立地適正化計画の誘導施策に関する懇話会開催経費等			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	13,300	都市開発推進基金繰入金		20
	一般財源	6,340			
担当課	都市計画	課	課長名	上羽 讓司	内線番号 2320

令和6年度 主な事務事業調

No. 113

事業名	都市計画基礎調査等事業費				
費目	款	土木費	項	都市計画費	目 都市計画総務費
事業費	17,630 千円			予算書	58 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	<p>社会情勢の変化に対応した都市計画の構築を図るため、人口推移や土地・建物の利用状況など、都市計画の基礎となるデータの把握を行い、客観的・定量的なデータに基づいた都市計画の見直しと運用を図る。</p> <p>また、舞鶴市の都市計画情報のデジタル化・オープンデータ化を行い、利用者の利便性向上を図る。</p>			
	事業の内容	<p>○都市計画基礎調査業務委託 主な調査内容 （ ・土地利用及び土地利用条件（宅地開発等の状況など） ・建物用途別現況、建物新築状況、中心市街地の建物現況 ・都市施設の状況（整備状況、道路網、上下水道整備状況） など</p> <p>○都市計画総括図等台帳整備 ・用途地域など建築制限に関する内容のオープンデータ化</p> <p>○地区計画検討及び区域区分変更業務委託等 ・基礎資料の作成</p>		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	1,500	デジタル田園都市国家構想交付金(1/2)	13
	府支出金	13,600	都市計画基礎調査事業費委託金	19
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,530		
担当課	都市計画	課	課長名	上羽 讓司
			内線番号	2320

事業名	都市公園整備事業費					
費目	款	土木費	項	都市計画費	目	公園費
事業費	31,500 千円			予算書	59 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>市民の憩いの場である都市公園において、「舞鶴市公園施設長寿命化計画」に基づき施設の改築・更新を行うことにより、安全で安心な公園管理に努める。</p>
事業の内容	<p>[舞鶴市公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三宅公園他遊戯施設更新工事（三宅他） ・舞鶴文化公園他照明施設更新工事（上安久他）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	15,000	社会資本整備総合交付金(1/2)	13
	府支出金	-		
	地方債	14,800	都市計画債	23
	その他	1,700	都市開発推進基金繰入金	20
	一般財源	-		

担当課	土木課	課長名	尾橋 英憲	内線番号	2350
-----	-----	-----	-------	------	------

事業名	民間建築物耐震改修等推進事業費				
費目	款	土木費	項	住宅費	目 住宅管理費
事業費	8,576 千円			予算書	60 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	舞鶴市建築物耐震改修促進計画に基づき、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進するため、耐震診断士の派遣と耐震改修に係る費用の一部を助成する。
事業の内容	<p>◆対象：昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅</p> <p>◆支援内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎木造住宅耐震改修助成（本格型） 補助限度額：1,000千円を1,500千円に増額 件数：1件から5件まで増加 補助限度額：1,500千円×5件 ◎木造住宅耐震改修助成（簡易型） 補助限度額：400千円×2件 ◎木造住宅耐震診断士派遣 自己負担額：3,000円×5件 <p>※能登半島地震を受け、耐震改修（本格型）について、補助限度額と件数を時限的に拡充（令和7年度まで）</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	3,030	社会資本整備総合交付金(1/2)	13
	府支出金	2,765	木造住宅耐震改修等事業費補助金(1/4・2/5) 住宅耐震診断事業費補助金(1/4)	18
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	2,781		

担当課	都市計画課	課長名	上羽 讓司	内線番号	2320
-----	-------	-----	-------	------	------

事業名	土砂災害住宅改修支援事業費				
費目	款	土木費	項	住宅費	目 住宅管理費
事業費	2,240 千円			予算書	60 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	本市には、土砂災害特別警戒区域（急傾斜）が約1,200箇所あるが、府の急傾斜事業の採択要件に満たない区域が多くある。これらの区域にある住居（既存建築物）の土砂災害対策改修に対する支援を行うことにより、土砂災害から人命・財産の安全性を確保する。
事業の内容	<p>土砂災害に対して耐えられる構造を有しない建築物に対し、外壁や塀等を設ける改修に必要な費用を支援</p> <p>対象限度額：3,360千円/棟 補助限度額：1,120千円/棟（1/3補助） 募集件数：2件</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	772	社会資本整備総合交付金(1/2)	13
	府支出金	386	住宅等土砂災害対策改修支援事業費補助金(1/4)	18
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,082		

担当課	国・府事業推進課	課長名	小西 征良	内線番号	3440
-----	----------	-----	-------	------	------

事業名	公営住宅改善事業費					
費目	款	土木費	項	住宅費	目	住宅建設費
事業費	67,768 千円			予算書	60 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	第2期舞鶴市公営住宅等長寿命化計画に基づき、継続して管理する中層建物の建物躯体の長寿命化を図る。 また、建替と集約化を組み合わせた適切なストックマネジメント及び継続的な事業展開を図る。			
	○公営住宅改善事業 築年数の古い市営住宅について、今後も安全に居住できる環境を整備するため、外壁長寿命化工事を行う。			
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・浮島団地外壁長寿命化設計委託（築46年） ・白鳥団地1号棟外壁長寿命化工事（築23年） 			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	24,443	社会資本整備総合交付金(4.5/10)	13
	府支出金	-		
	地方債	40,200	住宅債	23
	その他	-		
	一般財源	3,125		
担当課	都市計画	課	課長名	上羽 讓司
			内線番号	2320

令和6年度 主な事務事業調

No. 118

事業名	消防施設整備事業費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費	219,299 千円			予 算 書	61 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	災害対応能力の維持向上のため、配備後長年月が経過し老朽化しているはしご付消防ポンプ自動車を綾部市・舞鶴市との両市で共同整備し運用する。 また、機動力の高い消防団の小型動力ポンプ搬送車を整備し、分団の活動拠点として地域防災力の充実強化を図るため、中分団車庫新築工事を行う。				
	事業の内容	○消防ポンプ自動車等購入事業 167,000千円 ・はしご付消防ポンプ自動車（常備消防） 1台 …綾部市とのはしご自動車の共同運用に係る連携協約に基づき、共同購入・運用			
○小型動力ポンプ機動力化事業 14,639千円 ・小型動力ポンプ搬送車（非常備消防） 4台 …志楽、東大浦、西大浦、四所分団					
○中分団車庫新築工事（非常備消防） 33,600千円					ほか
財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	196,800	消防債、辺地債		23
	その他	18,300	雑入（はしご自動車連携協約購入綾部市負担分）		22
一般財源	4,199				
担当課	消防総務 警防	課	課長名	谷 直樹 (消防団担当課長) 中西 雅彦	内線 番号 9102 9521

令和6年度 主な事務事業調

No. 119

事業名	西消防署整備事業費					
費目	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費
事業費	206,200 千円			予算書	61 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	西消防署は、昭和59年の建設から約40年が経過していることから、昭和57年建設の東消防署中出張所の閉鎖を含めた庁舎再編計画により、移転・新築することで、災害時における機能強化と消防体制の充実を図る。					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○移転場所：舞鶴市字西小字西町108番地 ○施工管理委託・本工事（2,407,000千円） 実施期間：令和6年度～7年度 (債務負担行為を設定) ○整備内容 敷地面積：6,385.38㎡ 建物構造：庁舎棟 鉄筋コンクリート造 3階建て 建物規模：庁舎棟 約2,400㎡ その他：訓練場、訓練施設 ○事業スケジュール 令和6年度：基礎・杭打工事 令和7年度：建築・機械・電気設備工事・外構工事 ※実施設計（再生可能エネルギーを利用した西消防署整備の実現可能性調査及び実施設計委託）は令和4年度実施 				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	206,200	消防債			23
	その他	-				
一般財源	-					
担当課	消防総務 課		課長名	近記 彰		内線番号 9101

事業名	不登校支援等推進経費					
費目	款	教育費	項	教育総務費	目	事務局費
事業費	23,549 千円			予算書	63 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的

心理的要因等により不登校となっている児童・生徒に対し、教育支援センター明日葉（あしたば）において、集団生活への適応指導や学力の補充及び基本的な生活習慣の改善等のための相談・指導等を行うとともに、京都府認定フリースクール（聖母の小さな学校）と連携し、学校生活への復帰や学校以外の場における教育機会の確保、社会的自立を支援する。

また、児童・生徒からの悩みや困りごと等の相談体制については、いじめ相談室での24時間体制の電話やメール相談に加え、令和5年度に構築した児童・生徒が所有するタブレットから相談できるツール「まいづるこども相談」フォームを運用し、児童・生徒から相談しやすく、また、学校等が迅速にきめ細やかな対応が図れるようにするなど、いじめ・不登校事象等の未然防止と早期発見・対応を強化する。

- 事業の内容
- 1 教育支援センターの概要（場所：字浜）
 - ・不登校・いじめに係る相談、学習指導、訪問指導
 - ・カウンセラー（臨床心理士）によるカウンセリング
 - 2 チャレンジアウトドアライフ事業の実施
 - ・不登校児童生徒を対象とした野外体験活動の実施
 - 3 いじめ相談ダイヤル・メールによる相談受付に加え、タブレットを活用した「まいづるこども相談」フォームによる相談窓口の運用（令和6年3月運用開始）
 - 4 京都府認定フリースクール（聖母の小さな学校）連携推進事業の実施
 - ・校外活動、体験活動、カウンセリングなどを支援
 - 5 京都府認定フリースクール（聖母の小さな学校）を利用する児童・生徒の保護者の負担軽減補助【新規】
 - ・対象者：フリースクールに通う児童・生徒の保護者（所得制限なし）
 - ・補助経費：授業料等
 - ・補助上限：月12千円
 - 6 特別支援教育スーパーバイザーの配置
不登校を特別支援教育の観点から捉え、学校への指導・助言を行う

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	8,409	デジタル田園都市国家構想交付金（1/2）	13
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	700	ふるさと応援寄附金	20
一般財源		14,440		

担当課	学校教育課	課長名	日下部 亘	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 121

事業名	競技力向上対策事業費				
費目	款	教育費	項	教育総務費	目 文化・スポーツ振興基金費
事業費	671 千円			予算書	63 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>本市スポーツ選手の競技力向上や指導者の資質向上など、スポーツの普及振興に必要不可欠である人材の育成・強化に資するため、スポーツ大会において優秀な成績を収められた選手や、スポーツの普及振興に貢献された方を対象とする舞鶴市優秀スポーツ賞の表彰等を行うもの。</p>				
	事業の内容	<p>○舞鶴市優秀スポーツ賞 321千円 本市在住や出身者等で、スポーツ大会において優秀な成績を収めた選手や、スポーツの普及振興に貢献された方などを対象とする表彰式を開催。 また、選手の育成を支える指導者の重要性を鑑み、長年にわたり地域の指導者として貢献された方を新たに表彰対象とする。</p>			
財源内訳		<p>○懸垂幕の掲揚 350千円 特に優秀な成績（国際大会入賞など）を収めた方について、懸垂幕掲揚による広報を実施。</p>			
	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
国支出金	-				
府支出金	-				
地方債	-				
その他	671	文化・スポーツ振興基金繰入金		20	
一般財源	-				
担当課	スポーツ振興課	課長名	有田 昌史	内線番号	1235

令和6年度 主な事務事業調

No. 122

事業名	施設整備事業費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校管理費
事業費	54,348 千円			予 算 書	64・65 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>学校施設は次代を担う児童生徒の学習・生活の場であり、より良い教育活動を行うためには、施設の安全性・機能性の確保は不可欠であるため、老朽化対策及び安心・安全対策に関連した工事を計画的に実施することにより、教育環境の改善を図る。</p>
事業の内容	<p>主な整備内容</p> <p>○小学校 37,614千円 高圧受変電設備改修工事 (高野小学校) 避難器具(救助袋)更新工事 (大浦・中舞鶴小学校) 給水ポンプ改修工事 (朝来小学校) など</p> <p>○中学校 16,734千円 高圧受変電設備改修工事 (青葉中学校) 給水ポンプ改修工事 (城南中学校) など</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,000	特定防衛施設周辺整備調整交付金(定額)	13
	府支出金	6,000	電源立地地域対策補助金(定額)	18
	地方債	4,800	小学校債・中学校債	23
	その他	-		
	一般財源	40,548		

担当課	教育総務課	課長名	瀬野 薫	内線番号	2410
-----	-------	-----	------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 123

事業名	校舎等改修事業費（小学校・中学校）					
費目	款	教育費	項	小学校費 中学校費	目	学校建設費
事業費	551,712 千円			予 算 書	65・66 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>次代を担う児童生徒の学習・生活の場である学校施設の安全性・機能性を確保するため、老朽化した施設を改修することにより施設の長寿命化を図るとともに、学校生活の充実に必要な教育環境の整備を図る。</p> <p>中学校体育館においては、太陽光発電の設置、既存設備の省エネ化や再エネを活用したLED化や空調整備を一体的に進め、再生可能エネルギーへの理解促進を図るとともに、持続可能で安全・安心な教育環境整備に取り組む。</p>
事業の内容	<p>○小学校 488,622千円 倉梯小学校教室棟長寿命化改修工事（Ⅱ期） 明倫小学校体育館長寿命化改修工事設計業務委託</p> <p>○中学校 63,090千円 青葉中学校第一体育館長寿命化改修工事設計業務委託 中学校体育館再生可能エネルギー導入・理解促進事業 調査・設計業務委託 （青葉(第二)・白糸・和田・城南中学校）</p>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内 訳	国支出金	144,853	学校施設環境改善交付金(1/3)、エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(定額)	13
	府支出金	-		
	地方債	362,100	小学校債・中学校債	23
	その他	44,419	電源立地地域対策基金繰入金 他	19・20
	一般財源	340		

担当課	教育総務	課	課長名	瀬野 薫	内線 番号	2410
-----	------	---	-----	------	----------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 124

事業名	学校給食費無償化事業費					
費目	款	教育費	項	中学校費	目	学校管理費
事業費	97,600 千円			予算書	65 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>現在、本市では全ての市立小・中学校（25校）で学校給食を実施し、学校給食費は保護者の負担となっているが、小・中学生を育てる保護者の学校給食費負担を軽減し、未来を担う子どもたちの健やかな成長を社会全体で支え、「子育てしやすいまち・安心して子育てできる環境」を実現するため、先行して中学校を対象に学校給食費の無償化を実施する。</p>
事業内容	<p>○学校給食の現物支給 84,120千円 対象校 市立中学校7校 事業費 見込人数2,003人×月額6,000円×7か月</p> <p>○学校給食費相当額の給付 5,080千円 対象者 ①舞鶴市立中学校に学籍があり、アレルギー等の事情により給食を喫食していない生徒 ②舞鶴市に住民登録があり、かつ、市内に居住している者で、舞鶴市立中学校に学籍がない学齢期にある生徒（府立特別支援学校、私立中学校在学学生等） 事業費 見込人数120人 ×月額6,000円×7か月</p> <p>○実施時期 令和6年度2学期から</p> <p>※教職員（200人）8,400千円は無償化対象外 ※小学校給食の無償化については、引き続き検討を進めていく。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	97,600	ふるさと応援寄附金、雑入（教職員等学校給食費徴収金）	20・22
	一般財源	-		

担当課	学校教育課	課長名	日下部 亘	内線番号	2430
-----	-------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 125

事業名	歴史文化資産活用経費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費
事業費	12,176 千円			予 算 書	67 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	舞鶴市文化財保存活用地域計画に基づき、歴史資料・文化財の効率的な管理を進めるとともに、歴史文化資産の価値を掘り起こし、次世代へ継承するため、歴史文化の魅力を活かしたまちづくりを推進する。					
	事業の内容	●重要伝統的建造物群保存対策事業費 5,376千円 舞鶴を代表する漁師町である吉原地区の景観を保存するため、地域の景観保存への機運を高めるための取組を進めるとともに、大学と連携して重要伝統的建造物群保存地区選定を目指した準備を進める。				
●歴史文化資産一元管理公開活用事業費 2,800千円 分散保管している歴史資料を郷土資料館及び旧由良川中学校等へ集約する。						
●歴史文化資産調査記録事業費【新規】 4,000千円 歴史文化資産の調査及び記録作成を行う。						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	-				
	府支出金	2,000	きょうと地域連携交付金(1/2)	18		
	地方債	-				
	その他	5,300	ふるさと応援寄附金、雑入(芸術文化振興基金助成金)	20・22		
一般財源		4,876				
担当課	文化振興	課	課長名	三方 理江 松本 達也 <small>(歴史文化まちづくり担当課長)</small>	内線 番号	1224 1230

令和6年度 主な事務事業調

No. 126

事業名	近代化遺産保存経費				
費目	款	教育費	項	社会教育費	目 社会教育総務費
事業費	4,383 千円			予算書	67 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>市内に現存する近代化遺産(江戸時代末期から第二次世界大戦終了時までには建設され、日本の近代化に貢献した産業、交通、土木等に係る建造物等をいう)を適切に保存し、次世代へ継承する。</p>
事業の内容	<p>近代化遺産の保存に関する調査及び審議を行う附属機関として、有識者による近代化遺産保存審議会を設置し、保存のための指針となる近代化遺産保存計画の策定を進める。</p> <p>令和6年度スケジュール(予定)</p> <p>5月 審議会設置 6月 近代化遺産保存計画策定業務委託入札 1月 パブリック・コメント実施 3月 近代化遺産保存計画策定</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	4,300	ふるさと応援寄附金	20
一般財源	83			

担当課	文化振興課	課長名	三方 理江 松本 達也 <small>(歴史文化まちづくり担当課長)</small>	内線 番号	1224 1230
-----	-------	-----	--	----------	--------------

令和6年度 主な事務事業調

No. 127

事業名	地域文化部活動推進事業費 地域運動部活動推進事業費				
費目	款	教育費	項	社会教育費 保健体育費	目 社会教育総務費 保健体育総務費
事業費	9,772 千円			予算書	67・68 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>子どもたちが将来にわたってスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保できるよう、本市の実情に応じた持続可能な部活動の実現を図ることを目的に、令和5年度から7年度までの3年間を改革推進期間として、休日の部活動について学校教育から地域への段階的な移行を進めている。</p> <p>令和3～5年度に国の委託を受けて実施した実証事業の成果や、令和5年度に設置した「舞鶴市部活動地域移行あり方検討会」の意見とともに、子ども、保護者、関係団体等の意向を踏まえながら、円滑な移行に向けた取組を推進する。</p>					
	事業の内容	<p>1 地域移行に向けた実証事業（国のモデル事業）の推進経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動部活動については、令和5年度の実施内容を足掛かりに参加する生徒や指導者、団体を増やす等、着実な展開を目指した実証事業を引き続き実施。 【令和5年度実施種目：剣道・柔道・陸上競技・ソフトボール・野球・ソフトテニス・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・ゆる部活】 令和6年度より、新たに文化部活動の実証事業に着手。 【実施予定活動：吹奏楽・合唱】 <p style="text-align: right;">運動部活動 7,191千円 文化部活動 1,748千円</p>				
事業の内容		<p>2 舞鶴市部活動地域移行あり方検討会等の開催経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の実情に応じた地域移行の課題について広く意見を聞くために設置した、有識者、文化・スポーツ関係者、学校関係者、保護者等によるあり方検討会等を引き続き開催。 <p style="text-align: right;">あり方検討会開催経費 833千円</p>				
	財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
財源内訳	国支出金	-				
	府支出金	8,939	地域文化部活動推進事業委託金 地域運動部活動推進事業委託金	19		
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	833				
担当課	学校教育 文化振興 スポーツ振興	課	課長名	日下部 亘 三方 理江 有田 昌史	内線 番号	2430 1224 1235

令和6年度 主な事務事業調

No. 128

事業名	施設整備事業費（公民館）					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費
事業費	54,698 千円			予 算 書	67 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	<p>公民館は、多世代が交流し、人がつながる地域づくりの拠点として、継続して学びと居場所を提供していくとともに、行政機能、防災機能などを備えた地域の拠点施設として、安全・安心な利用環境の維持を図るため、各施設の改修を実施する。</p>					
	事業の内容	<p>【工事概要】</p> <p>1 加佐分室（加佐公民館） 52,700千円 トイレ改修工事（水洗化工事等） 1階 33㎡ 多目的便所1、男子3、女子2 手洗器 2階 33㎡ 男子3、女子2 手洗器</p> <p>2 中総合会館 1,998千円 自動扉補修工事（自動扉開閉装置一式取替）</p>				
財源内訳		区 分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	52,700	社会教育債			23
	その他	-				
一般財源		1,998				
担当課 地域づくり支援 課			課長名 村尾 正		内線番号 1225	

令和6年度 主な事務事業調

No. 129

事業名	図書館再編推進事業費					
費目	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費
事業費	1,066 千円			予 算 書	68 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>舞鶴市図書館基本計画に掲げる3つの基本方針、「課題解決型図書館への脱皮」、「子どもたちや社会的弱者など、あらゆる市民に対するサービスの展開」、「全市域へのサービス網の構築」に基づく図書館再編と利用拡大に向けた取組を計画的に進める。</p>
事業の内容	<p>図書館市民ワークショップの開催など、市民の意見も取り入れながら図書館再編を進めるとともに、様々な団体との連携事業や利用拡大に向けたサービスを展開させていく。 また、市全域へのサービス網の構築に重要な分館機能の強化とネットワークの充実に向けた事業を実施する。</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ○中央図書館整備など、図書館再編にかかるワークショップの開催 ○中・南・加佐の3分館とのネットワーク構築にかかる準備 ○東西図書館から3分館への本の巡回 ○3分館に返却ポストを設置し、東西図書館の本の返却を実施 ○3分館での東西図書館司書による読み聞かせ等の実施

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
	国 支 出 金	-		
	府 支 出 金	-		
	地 方 債	-		
	そ の 他	-		
	一 般 財 源	1,066		

担当課	図書館	課	課長名	山本 達也	内線	75-
					番号	5406

令和6年度 主な事務事業調

No. 130

事業名	体育施設整備事業費 施設整備事業費（体育館）					
費目	款	教育費	項	保健体育費	目	保健体育総務費 体育館費
事業費	46,700 千円			予算書	69 頁	
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続	

事業の目的	スポーツ施設の老朽化への対応や高機能化など施設の充実に係る整備、改修等を実施することにより、利用者の安全、安心で快適なスポーツ実施環境の確保を図り、生涯スポーツの推進やスポーツイベントの開催・誘致等による地域活性化などスポーツを活かした元気なまちづくりを推進する。		
事業の内容	<p>【整備内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東舞鶴公園野球場 <ul style="list-style-type: none"> ・改修設計業務委託 7,500千円 ○文化公園プール <ul style="list-style-type: none"> ・改修設計業務委託 5,700千円 ○伊佐津川運動公園 <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室整備工事（新設） 20,000千円 ○東体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・照明制御盤改修工事 2,800千円 ○文化公園体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・改修設計業務委託 7,700千円 ・照明制御盤改修工事 3,000千円 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	2,000	電源立地地域対策補助金（定額）	19
	地方債	43,700	保健体育債	23
	その他	-		
	一般財源	1,000		

担当課	スポーツ振興課	課長名	有田 昌史	内線番号	1235
-----	---------	-----	-------	------	------

令和6年度 主な事務事業調

No. 131

事業名	(水道事業会計) 由良川取水における塩水遡上対策					
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目	浄水施設費
事業費	197,585千円のうち			予算書	5 頁	
	35,200 千円			事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>地球温暖化による若狭湾の海面上昇を原因として、由良川における塩水遡上が進み、本市水道の取水に及ぼす影響が大きくなることが予想される。</p> <p>将来にわたり安定した取水を持続するため、取水施設の上流移転についての基本設計を実施する。</p>				
	<p>○由良川取水施設移転基本設計業務委託</p> <p>ア) 取水施設基本設計</p> <p>イ) 取水ポンプ場基本設計</p> <p>ウ) 導水管路基本設計</p>				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)		予算書
	国支出金	-			
	府支出金	-			
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	35,200			
担当課	水道整備	課	課長名	山崎 寛之	内線番号 2270

令和6年度 主な事務事業調

No. 132

事業名	(水道事業会計) 配水管整備事業費				
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目 配水施設費
事業費	888,202千円のうち			予算書	5 頁
	760,100 千円			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	老朽化した水道管が年々増加していることから、水道ビジョンに基づき、将来の水需要予測を踏まえた適正口径へ見直し、耐震性のある水道管への取り替えを行い、安心して安全な水道水の安定供給に努める。			
	事業の内容			
事業の内容	○配水管布設替工事 工事延長：約5,000m 施工箇所：与保呂、浜、喜多 他 口径：φ50～φ400			
	事業の内容			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	49,170	水道管路緊急改善事業補助金(1/3)	4
	府支出金	-		
	地方債	361,000	水道事業債	4
	その他	-		
一般財源		349,930		
担当課	水道整備	課	課長名	山崎 寛之
			内線番号	2270

事業名	(下水道事業会計) 管渠整備事業費				
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目 管渠整備費
事業費	169,756千円のうち			予算書	28 頁
	108,000 千円			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	下水道管渠等の老朽化に伴う事故発生や、機能停止を未然に防ぐため、ストックマネジメント計画などに基づく、点検・調査・修繕・改築を行い、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。					
	事業の内容	○公共下水道管渠施設の更新（工事） 汚水ポンプ、マンホール蓋等の更新 施工箇所：上安久、溝尻地内他 事業費：88,000千円				
○公共下水道管渠施設の点検・調査・設計（委託） 施工箇所：浜地内他 事業費：20,000千円						
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書		
	国支出金	32,550	社会資本整備総合交付金（1/2）	27		
	府支出金	-				
	地方債	75,450	下水道事業債	27		
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	下水道整備	課	課長名	中地 俊元	内線番号	2220

事業名	(下水道事業会計) 処理場整備事業費				
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目 処理場整備費
事業費	251,256千円のうち			予算書	28頁
	73,150千円			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	処理場施設の老朽化などによる機能停止を未然に防ぐため、ストックマネジメント計画などに基づき、計画的な点検・調査・修繕・改築を行い、持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る。					
	事業の内容	○公共下水道 浄化センター施設改築 【東浄化センター】 ①汚泥処理設備改築（汚泥移送ポンプ） 事業費：50,050千円 ②実施設計（東ポンプ場、水管橋の事業計画の変更） 事業費：15,070千円 【西浄化センター】 ①実施設計（消毒設備） 事業費：8,030千円				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	11,015	社会資本整備総合交付金(1/2)	27		
	府支出金	-				
	地方債	62,135	下水道事業債	27		
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	下水道整備	課	課長名	中地 俊元	内線番号	2220

令和6年度 主な事務事業調

No. 135

事業名	(下水道事業会計) 雨水処理事業費				
費目	款	資本的支出	項	建設改良費	目 雨水処理費
事業費	380,838千円のうち			予算書	28 頁
	334,000 千円			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	市街地の浸水対策事業として、西市街地においては、京都府の高野川整備計画と連携し事業を促進し、さらに東市街地において工事着手に向けた実施設計を行い、安全・安心なまちづくりを行う。					
	事業の内容	○西地区浸水対策事業 276,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 静溪ポンプ場建設工事 ・ 西Ⅱ期に係る雨水管理総合計画策定 ・ 松陰ポンプ場設計業務 				
財源内訳		○東地区浸水対策事業 58,000千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水管理総合計画の変更 				
	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
財源内訳	国支出金	167,000	下水道防災事業費補助金(1/2) 社会資本整備総合交付金(1/2)	27		
	府支出金	-				
	地方債	167,000	下水道事業債	27		
	その他	-				
	一般財源	-				
担当課	浸水対策	課	課長名	岡野 恭憲	内線番号	2310

令和6年度 主な事務事業調

No. 136

事業名	(病院事業会計) 病院事業 (収益的収支・資本的収支)			
費目	款		項	目
事業費	1,143,460 千円		予算書	47~51 頁
			事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	<p>病院事業については、引き続き急性期医療を担う市内公的3病院等と緊密に連携しながら、積極的に患者を受入れ、地域・圏域における慢性期の医療ニーズに対応する。</p> <p>また、加佐診療所については、地域に係る関係機関との連携を一層深める中で、地域のかかりつけ医として、必要な機能・役割を担うことにより、在宅医療の充実を支援する。</p>
事業の内容	<p>[事業費内訳]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院事業 1,063,994千円 ・診療所 79,466千円 <p>[病院事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養病床 100床 ・入院患者 93.5人/日平均(見込み) ・入院収益 668,216千円 ・職員体制 98人 <p>[診療所事業概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科 内科・整形外科・その他(健診、予防接種等) ・外来患者 14.5人/日平均(見込み) ・医業収益 34,150千円 (健診、予防接種等含む) ・職員体制 7人

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	315		48・50
	府支出金	570		48・50
	地方債	17,000	病院事業債	50
	その他	287,900	市補助金(病院分243,251千円、診療所分44,649千円)	48・50
	一般財源	794,185		

担当課	市民病院総務課	課長名	阿部 葉子	外線番号	60-9020
-----	---------	-----	-------	------	---------

令和6年度 主な事務事業調

No. 137

事業名	(国民健康保険事業会計) 国民健康保険事業		
費目	款	項	目
事業費	7,358,130 千円		予 算 書 72~90 頁
			事業区分 新規・拡大・ 継続

事業の目的

団塊世代の後期高齢者医療制度への移行や、社会保険の適用範囲の拡大により更なる被保険者数の減少が見込まれる一方、医療費の増嵩は続いており、今後も財政運営は厳しい見通しであることから、国民健康保険事業基金の取崩しに加え、4年ぶりとなる1人当たり保険料の引き上げを行うが、引き続き、健全な事業運営に努める。

また、令和6年12月2日の健康保険証廃止に向け、マイナンバー保険証の利用促進を図りつつ、健康保険証の廃止後も引き続き、全ての被保険者が安心して医療を受けられるよう対応するとともに、令和7年4月から保険料徴収業務を京都地方税機構に移管することとしており、その準備を進める。

事業の内容

【主な歳入】

- 保険料 1,143,362千円
 - (1)医療分+支援分の1人当たり保険料 79,790円(前年度比8.0%の増)
 - (2)介護分の1人当たり保険料 28,940円(前年度比1.0%の増)
- 府支出金 5,275,628千円
 - 保険給付費等
- 一般会計繰入金 619,973千円
 - 低所得者の割合等に応じた財政支援の保険者支援分など
- 国民健康保険事業基金繰入金 306,956千円
 - 保険料の負担軽減等

【主な歳出】

- 保険給付費 5,230,557千円
- 国民健康保険事業費納付金 1,869,222千円
 - 府内の保険給付費に充てるため、府が所得水準及び医療費水準に応じて各市町村ごとに算定
- 保健事業費 105,389千円

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	3,165	社会保障・税番号制度システム整備費等補助金	-
	府支出金	5,275,628	保険給付費等交付金	-
	地方債	-		
	その他	930,773	一般会計繰入金 他	-
	一般財源	1,148,564		

担当課	保険医療 課	課長名	山本 哲也	内線番号	2160
-----	--------	-----	-------	------	------

事業名	(国民健康保険事業会計) 特定健康診査等事業費			
費目	款	保健事業費	項	特定健康診査等事業費
事業費	74,929 千円		予算書	81 頁
			事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>内臓脂肪の蓄積に起因する生活習慣病の発症・重症化を予防するため特定健診を実施し、健診結果に応じて生活習慣病発症リスクの高い人に保健指導を実施する。</p> <p>各種施策により健診受診率や指導実施率の拡大を図ることで疾病予防、重症化予防等、医療費の適正化に取り組む。</p>
事業の内容	<p>1. 特定健康診査【事業費62,568千円】</p> <p>○対象 40歳～74歳の国民健康保険加入者</p> <p>○内容 問診、診察、身体計測、検尿、血圧、心電図、血液検査を実施</p> <p>2. 特定保健指導【事業費3,226千円】</p> <p>○対象 特定健診の結果、腹囲又はBMIが一定の基準を超え、血圧・脂質・血糖・喫煙習慣のリスクのある者。リスクの程度により、積極的支援レベルと動機づけ支援レベルに階層化。</p> <p>○内容 保健師や管理栄養士が個別に保健指導を行い、対象者自身が作成した行動計画・目標の達成を目指し、生活習慣の改善に向け支援する。</p> <p>3. 特定健康診査等一般事務経費【経費9,135千円】</p>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	-		
	府支出金	22,926	特定健康診査等負担金 特別調整交付金	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	52,003		

担当課	保険医療 健康づくり	課	課長名	山本 哲也 飯田 徹	内線 番号	2160 6200
-----	---------------	---	-----	---------------	----------	--------------

事業名	(介護保険事業会計) 介護保険事業費			
費目	款		項	目
事業費	8,963,140 千円		予 算 書	101~127 頁
			事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>介護を要する状態となっても、できる限り、自宅で自立した日常生活を営めるように、真に必要な介護サービスを総合的・一体的に提供するための介護保険制度を運営する。</p>			
事業の内容	<p><保険事業勘定> 介護サービス等にかかる費用について「保険給付事業」を行うとともに、「地域支援事業」として、要支援者等の通所・訪問サービス等に係る「介護予防・生活支援サービス事業」を実施するほか、「一般介護予防事業」や「包括的支援事業」、「任意事業」を実施。 居宅・施設サービスの利用等にかかる費用については、所得に応じ9割～7割分を保険給付し、ケアプラン作成にかかる費用については、全額保険給付となる。 その他、国保連への審査支払手数料や高額介護サービス等にかかる費用等を計上。</p> <p><サービス事業勘定> 「介護サービス事業」として、市内に7ヶ所ある「地域包括支援センター」のうち、市が直営により運営する指定介護予防支援事業所1ヶ所において、介護予防支援を実施する。</p>			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,262,891	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	—
	府支出金	1,271,346	介護給付費負担金、地域支援事業交付金 他	—
	地方債	-		
	その他	3,890,148	支払基金交付金、繰入金、諸収入 他	—
	一般財源	1,538,755		
担当課	高齢者支援	課	課長名	竹山 真
			内線番号	2120

事業名	(介護保険事業会計) 介護認定業務DX推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	8,170 千円			予算書	107 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>高齢化率の上昇に伴い、年々増加する要介護認定申請に対応するため、AI技術を活用するなど、要介護認定業務のDXを進め、申請受理から認定結果確定に要する期間短縮を図り、市民への速やかな介護サービスの提供と、業務の効率化を目指す。</p>
事業の内容	<p>○タブレット端末を活用した認定調査の実施 訪問調査において、聞き取り内容をタブレット端末に入力することにより、現地で調査票の作成を完結することが可能となり、資料作成に要する時間を短縮する。 ・タブレット端末購入(8台)等 1,020千円</p> <p>○AI技術を用いた調査票確認作業の実施 調査票の内容の整合性チェックに、AI自動判定技術を導入することにより、確認作業の時間を短縮する。 ・システム導入・運営費等 7,150千円</p>
内容	<pre> graph LR A[① 申請] --> B[② 認定調査] B --> C[③ AI判定] C --> D[④ PCによる認定結果判定] </pre>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	8,170	一般会計繰入金(事務費分)	105
	一般財源	-		

担当課	高齢者支援課	課長名	竹山 真	内線番号	2120
-----	--------	-----	------	------	------

事業名	(介護保険事業会計) 地域支援事業費			
費目	款	地域支援事業費	項	目
事業費	495,708 千円		予 算 書	111~114 頁
			事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	地域支援事業では、被保険者が要介護・要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援するためのサービスを提供することを目的として実施するもの。			
	事業の内容	1. 介護予防・生活支援サービス事業 要支援者等を対象に、訪問型・通所型サービスのほか軽易な家事援助や配食サービス等の生活支援等を実施するとともに、在宅における専門職によるリハビリや栄養指導などの集中的な訪問型支援を実施。 2. 一般介護予防事業 地域の公民館や集会所など身近な場所での住民主体の運動や交流を促進し、住民同士のつながりを強化する介護予防を通じた地域づくりの推進。 3. 包括的支援事業 地域包括支援センター（市内7か所）の相談体制充実やリハビリ職など多職種協働による地域ケア会議の実施、認知症施策や生活支援体制の整備、在宅医療・介護の連携推進事業などにより、「地域包括ケアシステム」の深化・推進に取り組む。 4. 任意事業 住み慣れた地域での暮らしを継続できるよう、高齢者の見守り体制の整備や家族介護支援のほか、介護給付費の適正化に取り組む。（配食サービス、緊急通報システムなど） 5. 地域包括支援センター運営費		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	174,550	地域支援事業交付金(20/100、38.5/100)等	104
	府支出金	73,832	地域支援事業交付金(12.5/100、19.25/100)等	105
	地方債	-		
	その他	176,955	地域支援事業市負担金(12.5/100、19.25/100)等	—
	一般財源	70,371		
担当課	高齢者支援	課	課長名 竹山 真	内線番号 2120

事業名	(後期高齢者医療事業会計) 後期高齢者医療事業			
費目	款		項	目
事業費	1,637,720 千円		予算書	128~140 頁
			事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費で、医療費の給付や保険料賦課決定などの基幹事務は京都府後期高齢者医療広域連合で行い、市町村では窓口業務と保険料徴収を行う。			
	事業の内容	○後期高齢者医療広域連合納付金 1,594,049千円 ・保険料等分 1,224,206千円 ・保険基盤安定分 344,985千円 ・事務費分 24,858千円 ○一般管理経費等 36,928千円 ○徴収費 4,683千円		
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	413,513	繰入金ほか	-
	一般財源	1,224,207		
担当課	保険医療	課	課長名 山本 哲也	内線番号 2160